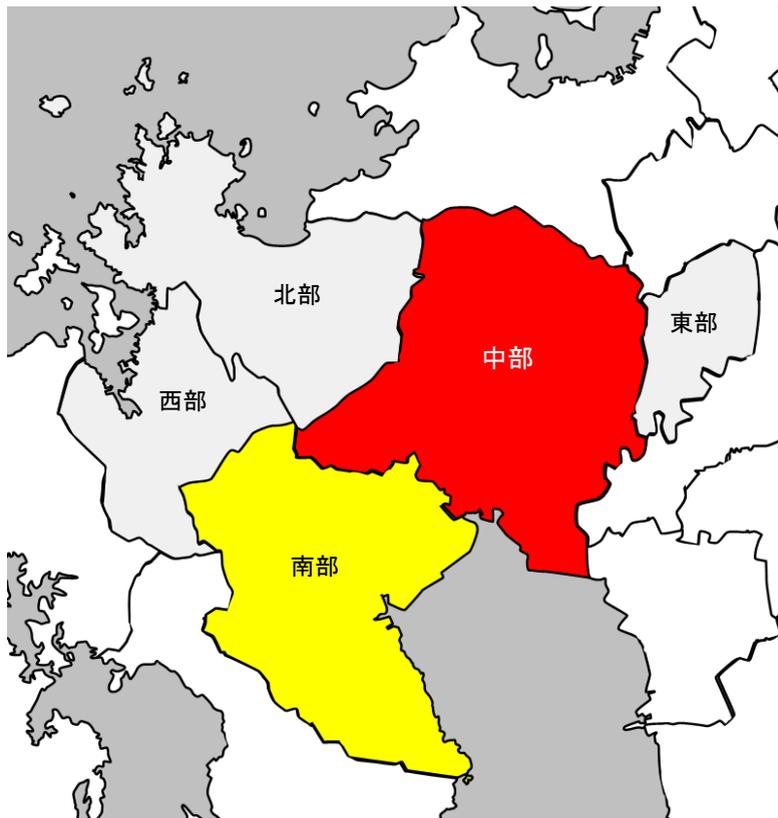


41. 佐賀県

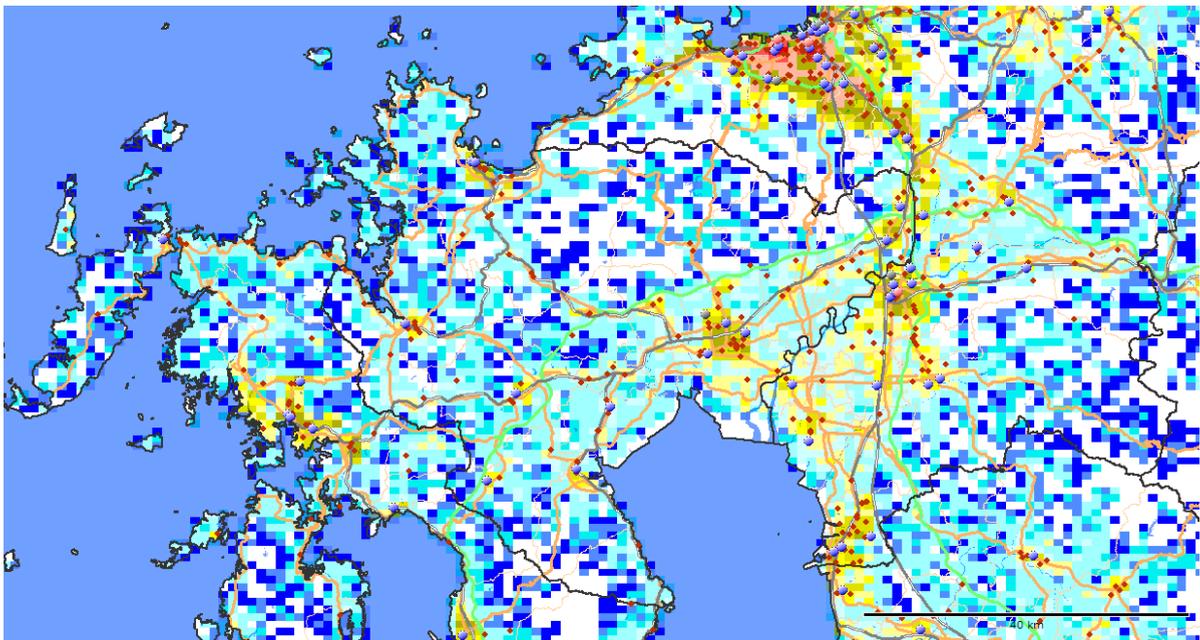


目次

佐賀県	41	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	41	-	8
1. 中部医療圏	41	-	20
2. 東部医療圏	41	-	25
3. 北部医療圏	41	-	30
4. 西部医療圏	41	-	35
5. 南部医療圏	41	-	40

41. 佐賀県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(佐賀県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 佐賀県は、総人口約833千人(2015年)、面積2441km²、人口密度は341人/km²である。

*人口の将来予測： 佐賀県の総人口は2025年に775千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に680千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の120千人が、2025年にかけて143千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には151千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 佐賀県の一人当たり医療費(国保)は414千円(偏差値66)、介護給付費は280千円(偏差値58)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 佐賀県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.1、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.95で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が54(病院医師数56、診療所医師数50)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は56と多い。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は63と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値66と非常に多く、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 佐賀県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11419人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が7453床(偏差値50)、高齢者住宅等が3966床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10851人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設60、有料老人ホーム44、軽費ホーム47、グループホーム62、サ高住37である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1008人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-7%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

佐賀県の総人口は、2005年866369人が、2015年に832832人と4%減少し、2025年の人口が774676人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

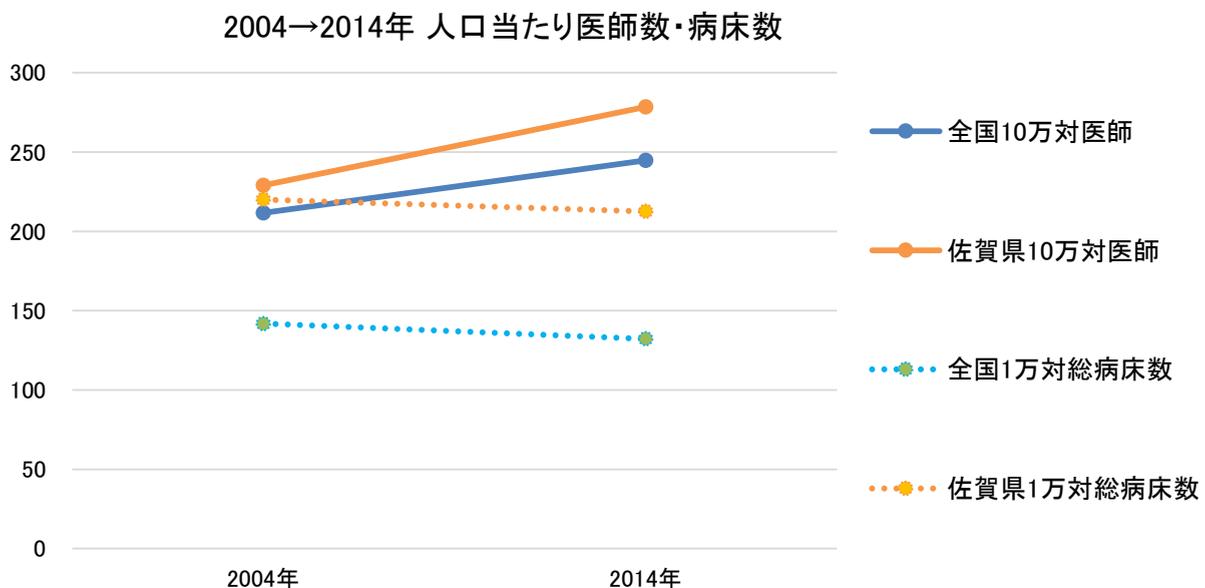
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が112(人口10万人当たり12.9病院(全国平均7.1)偏差値65)であったが、2014年に108(人口10万人当たり13病院(全国平均6.7)偏差値65)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が678(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2014年に684(人口10万人当たり82診療所(全国平均79)偏差値52)と、6診療所が増加した。

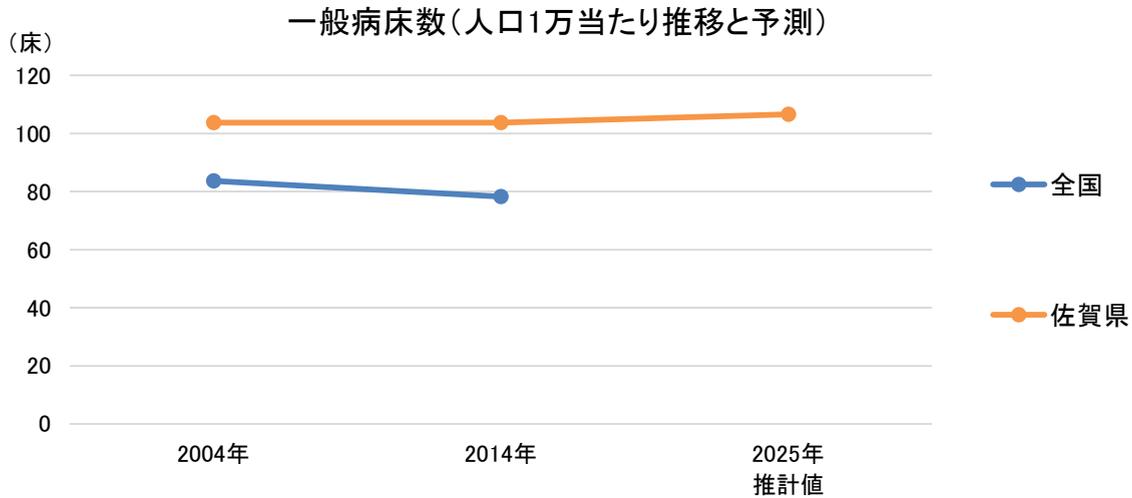
2004年の総病床数が19063床(人口1万人当たり220(全国平均142)偏差値64)であったが、2014年に17711床(人口1万人当たり213(全国平均132)偏差値64)と、1352床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1985人(人口10万人当たり229人(全国平均212人)偏差値52)であったが、2014年に2319人(人口10万人当たり278人(全国平均245人)偏差値54)と、334人の増加、率にして17%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



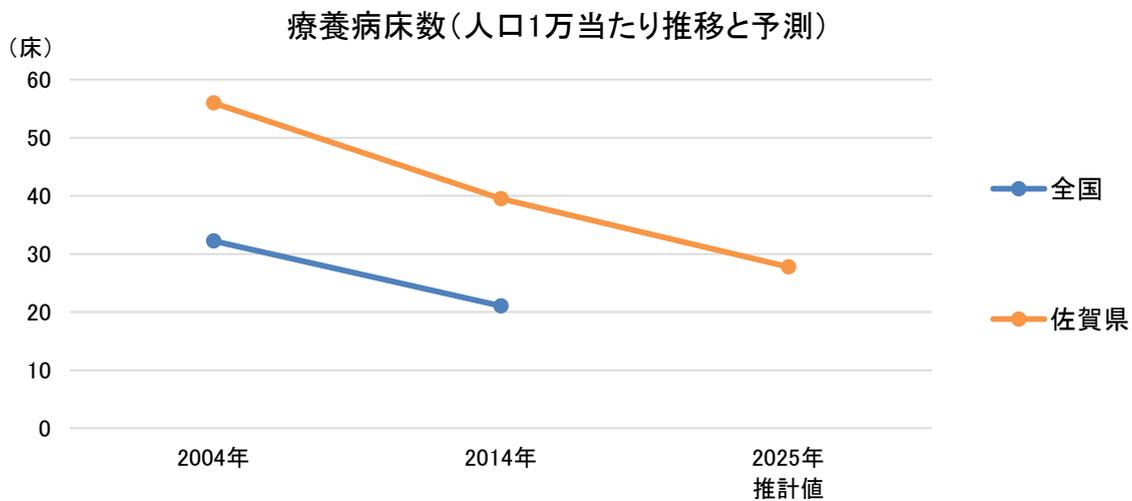
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が8981床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に8637床(人口1万人当たり104(全国平均78)偏差値59)と、344床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には8258床(2025年の推計人口1万人当たり107)になることが予想される。



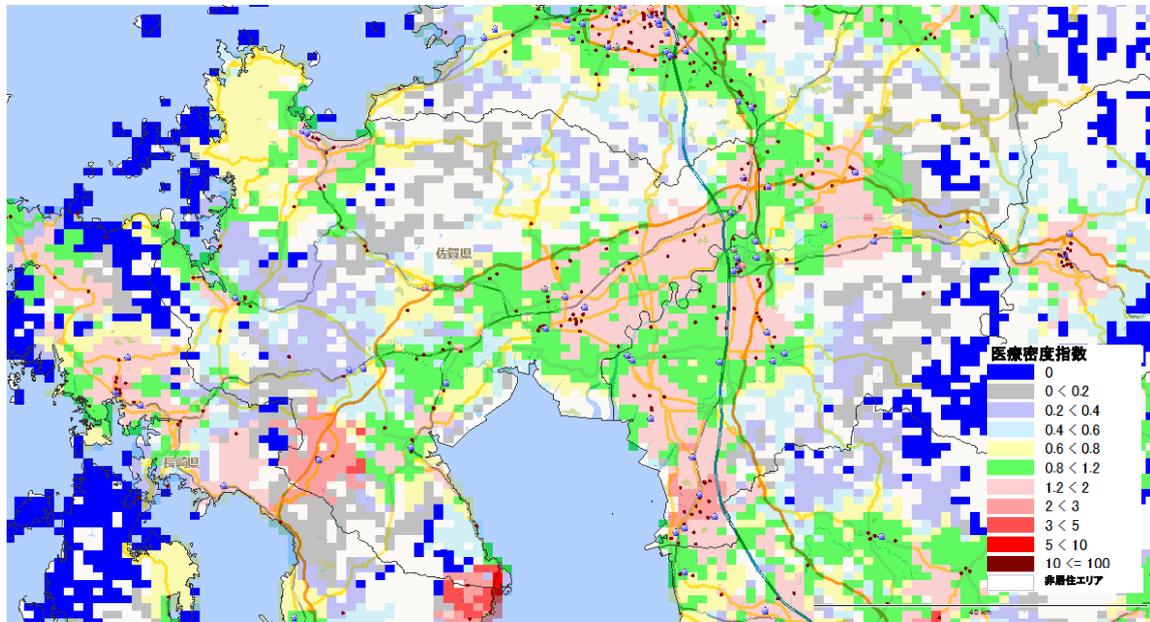
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が5475床(75歳以上1000人当たり56(全国平均32)偏差値63)であったが、2014年に4753床(75歳以上1000人当たり40(全国平均21)偏差値66)と、722床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3960床(2025年の推計75歳以上1000人当たり28)になることが予想される。



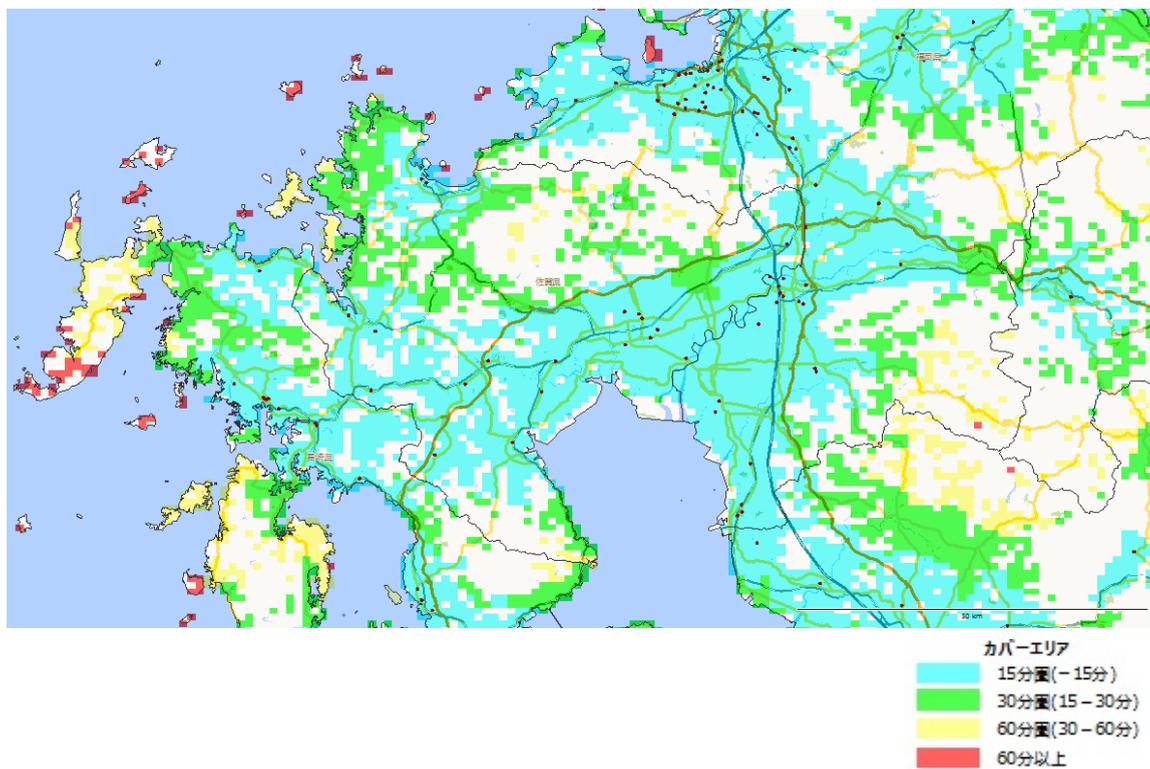
(佐賀県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表41-1 急性期医療密度指数マップ



図表41-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 41-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
佐賀県	833	42位	2,441	42位	341.2		28%	775	680	120	143	151	-7%	-12%	19%	6%
中部	349	42%	794	33%	439.2	地方都市型	26%	324	285	47	57	62	-7%	-12%	21%	9%
東部	125	15%	159	6%	788.0	地方都市型	25%	121	115	15	21	22	-3%	-5%	40%	5%
北部	129	15%	524	21%	245.8	地方都市型	29%	117	100	20	22	23	-9%	-15%	10%	5%
西部	75	9%	321	13%	234.8	地方都市型	29%	70	61	12	13	14	-7%	-13%	8%	8%
南部	155	19%	644	26%	241.0	地方都市型	30%	141	120	26	29	30	-9%	-15%	12%	3%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日															

資_図表 41-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
佐賀県	1.10	1.95	10,858	11,598	-6.8%
中部	1.18	1.93	3,956	4,677	-18.2%
東部	1.35	1.69	1,709	1,679	1.8%
北部	0.97	2.82	1,858	1,825	1.8%
西部	0.85	2.50	1,042	1,091	-4.7%
南部	0.95	1.87	2,293	2,326	-1.4%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 41-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
佐賀県	414	66	1.201	179	66	1.365	211	62	1.116	280	58
中部	419	67	1.211	171	64	1.304	222	68	1.173	274	56
東部	442	72	1.231	194	71	1.419	224	69	1.134	242	47
北部	381	58	1.134	162	61	1.271	197	55	1.071	283	59
西部	408	65	1.152	197	72	1.458	190	51	0.977	301	64
南部	420	67	1.225	191	70	1.456	204	59	1.088	303	64

出典 <一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省
<一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報)
平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)

※後期高齢者の医療費については、資_図表41-35を参照。

資_図表 41-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
佐賀県	108	1.3%	13.0	65	688	0.7%	83	52
中部	39	36%	11.2	61	308	45%	88	55
東部	14	13%	11.2	61	105	15%	84	52
北部	18	17%	14.0	68	103	15%	80	50
西部	12	11%	15.9	73	60	9%	80	50
南部	25	23%	16.1	73	112	16%	72	46

出典 平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月

資_図表 41-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
佐賀県	688	0.7%	83	52	520	0.6%	62	44	168	2.1%	20.2	72
中部	308	45%	88	55	241	46%	69	48	67	40%	19.2	70
東部	105	15%	84	52	86	17%	69	48	19	11%	15.2	64
北部	103	15%	80	50	79	15%	61	44	24	14%	18.6	69
西部	60	9%	80	50	43	8%	57	41	17	10%	22.6	76
南部	112	16%	72	46	71	14%	46	35	41	24%	26.4	82

出典 平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月

資_図表 41-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
佐賀県	15,064	1.0%	1,809	62	2,487	2.3%	299	71	17,551	1.0%	2,107	64
中部	5,865	39%	1,682	59	973	39%	279	69	6,838	39%	1,961	62
東部	2,394	16%	1,916	64	275	11%	220	63	2,669	15%	2,136	65
北部	2,134	14%	1,658	59	352	14%	274	69	2,486	14%	1,932	61
西部	1,348	9%	1,788	61	275	11%	365	78	1,623	9%	2,153	65
南部	3,323	22%	2,142	68	612	25%	394	81	3,935	22%	2,536	72
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 41-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
佐賀県	6,385	0.7%	767	53	4,402	1.3%	529	63	4,223	1.3%	507	61
中部	3,083	48%	884	58	1,305	30%	374	56	1,469	35%	421	57
東部	707	11%	566	44	881	20%	705	71	772	18%	618	66
北部	858	13%	667	48	661	15%	514	62	611	14%	475	60
西部	484	8%	642	47	530	12%	703	71	330	8%	438	58
南部	1,253	20%	808	55	1,025	23%	661	69	1,041	25%	671	69
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 41-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数				地域包括ケア病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
佐賀県	466	0.6%	56	50	452	0.7%	54	49
中部	150	32%	43	47	161	36%	46	48
東部	80	17%	64	51	134	30%	107	59
北部	67	14%	52	49	23	5%	18	43
西部	72	15%	96	58	60	13%	80	54
南部	97	21%	63	51	74	16%	48	48
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資_図表 41-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
佐賀県	4,523	3,738	230	10,564	2,685	4,144	58.2%	52	5.3%	48
中部	2,565	1,967	89	3,313	1,154	1,178	63.0%	54	7.0%	49
東部	470	436	0	1,934	271	891	61.7%	54	0.0%	46
北部	626	521	101	1,508	337	560	60.7%	54	15.3%	53
西部	318	274	40	1,030	210	490	56.6%	52	7.5%	49
南部	544	540	0	2,779	713	1,025	43.1%	46	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 41-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
佐賀県	23,880	0.8%	2,867	56	8,352	0.8%	1,003	57
中部	10,908	46%	3,129	59	4,116	49%	1,181	63
東部	924	4%	739	36	492	6%	394	35
北部	3,120	13%	2,424	52	1,068	13%	830	51
西部	900	4%	1,194	40	984	12%	1,305	68
南部	8,028	34%	5,174	79	1,692	20%	1,090	60
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 41-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
佐賀県	2,566	0.7%	308	54	1,719	0.8%	206	56	847	0.6%	102	50
中部	1,361	53%	390	63	976	57%	280	67	385	45%	110	52
東部	283	11%	227	45	149	9%	120	42	134	16%	107	51
北部	327	13%	254	48	202	12%	157	48	126	15%	98	48
西部	160	6%	212	43	98	6%	130	44	62	7%	83	44
南部	435	17%	280	51	295	17%	190	53	140	17%	90	46
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 41-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科 専門医数				小児科 専門医数				産婦人科 専門医数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国		12.3	(6.5)			9.8	(4.5)			8.2	(3.7)	
佐賀県	0.8%	15.2	55		0.7%	10.7	52		0.6%	8.0	50	
中部	60%	21.8	65		70%	17.8	68		52%	10.0	55	
東部	8%	8.0	43		8%	5.6	41		4%	2.4	34	
北部	17%	17.1	57		10%	7.0	44		15%	7.8	49	
西部	5%	8.0	43		4%	5.3	40		9%	8.0	49	
南部	10%	8.4	44		8%	4.5	38		19%	8.4	50	
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 41-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科 専門医数				眼科 専門医数				耳鼻咽喉科 専門医数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国		4.2	(2.1)			7.4	(3.1)			5.9	(2.5)	
佐賀県	0.6%	4.1	50		0.6%	6.8	48		0.7%	6.2	51	
中部	65%	6.3	60		53%	8.6	54		62%	9.2	63	
東部	12%	3.2	45		9%	4.0	39		10%	4.0	43	
北部	9%	2.3	41		11%	4.7	41		8%	3.1	39	
西部	3%	1.3	36		5%	4.0	39		6%	4.0	43	
南部	12%	2.6	42		23%	8.4	53		15%	5.2	47	
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 41-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科 専門医数				外科 専門医数				整形外科 専門医数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国		6.5	(3.5)			16.0	(6.9)			12.1	(4.4)	
佐賀県	0.8%	8.3	55		0.7%	16.8	51		0.9%	17.3	62	
中部	54%	10.6	62		49%	19.5	55		55%	22.7	74	
東部	17%	9.6	59		9%	9.6	41		10%	12.0	50	
北部	1%	0.8	33		14%	14.8	48		15%	17.1	61	
西部	3%	2.7	39		9%	15.9	50		3%	6.6	38	
南部	25%	11.0	63		21%	18.7	54		16%	14.8	56	
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 41-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科専門医数				脳神経外科専門医数				放射線科専門医数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国		4.5	(2.0)			5.0	(2.3)			4.2	(2.9)	
佐賀県	0.8%	5.8	56		0.8%	5.8	53		0.9%	5.9	56	
中部	50%	6.9	62		42%	5.7	53		53%	7.5	61	
東部	13%	4.8	52		15%	5.6	53		22%	8.8	66	
北部	17%	6.2	58		13%	4.7	48		6%	2.3	44	
西部	4%	2.7	41		6%	4.0	46		0%	0	36	
南部	17%	5.2	53		25%	7.7	62		18%	5.8	56	
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 41-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科専門医数				病理専門医数				救急科専門医数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国		5.2	(3.0)			1.2	(0.9)			2.6	(1.7)	
佐賀県	0.8%	6.6	55		0.6%	1.1	49		0.8%	3.1	53	
中部	67%	10.6	68		78%	2.0	59		81%	6.0	70	
東部	7%	3.2	43		0%	0	37		4%	0.8	39	
北部	9%	3.9	46		11%	0.8	45		4%	0.8	39	
西部	4%	2.7	42		0%	0	37		8%	2.7	50	
南部	13%	4.5	48		11%	0.6	44		4%	0.6	39	
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 41-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科専門医数				リハビリテーション科専門医数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国		1.6	(1.2)			1.9	(1.3)	
佐賀県	0.6%	1.4	49		0.9%	2.5	55	
中部	67%	2.3	56		38%	2.3	53	
東部	8%	0.8	44		14%	2.4	54	
北部	0%	0	37		24%	3.9	65	
西部	0%	0	37		5%	1.3	46	
南部	25%	1.9	53		19%	2.6	55	
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 41-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
佐賀県	11,473	1.0%	1,378	67	8,920	1.0%	1,071	65	2,552	1.3%	306	71
中部	5,026	44%	1,442	70	3,758	42%	1,078	65	1,268	50%	364	78
東部	1,489	13%	1,192	61	1,233	14%	986	61	257	10%	205	57
北部	1,581	14%	1,229	62	1,206	14%	937	59	376	15%	292	69
西部	1,025	9%	1,359	67	782	9%	1,037	63	243	10%	322	73
南部	2,351	20%	1,515	72	1,941	22%	1,251	72	410	16%	264	65
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 41-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
佐賀県	1,526	1.2%	183	66	1,799	0.6%	216	49
中部	533	35%	153	60	870	48%	250	53
東部	353	23%	282	84	289	16%	231	51
北部	172	11%	133	56	236	13%	183	45
西部	162	11%	215	72	111	6%	147	41
南部	307	20%	198	68	293	16%	189	46
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 41-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
佐賀県	124	0.9%	1.0	55	10	0.8%	0.1	51	78	0.7%	0.6	50
中部	43	35%	0.9	52	4	40%	0.1	52	29	37%	0.6	49
東部	28	23%	1.8	74	3	30%	0.2	69	14	18%	0.9	63
北部	23	19%	1.1	58	0	0%	0	38	11	14%	0.5	45
西部	4	3%	0.3	39	0	0%	0	38	10	13%	0.8	60
南部	26	21%	1.0	54	3	30%	0.1	56	14	18%	0.5	44
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 41-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国	75歳以上	偏差値	介護保険施設定員(病床)数	全国	75歳以上	偏差値	高齢者住宅定員数	全国	75歳以上	偏差値
		シェア	1,000人当り	*全国は標準偏差		シェア	1,000人当り	*全国は標準偏差		シェア	1,000人当り	*全国は標準偏差
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
佐賀県	11,419	0.7%	95	45	7,453	0.8%	62	50	3,966	0.6%	33	44
中部	4,323	38%	92	43	2,854	38%	61	49	1,469	37%	31	43
東部	1,877	16%	123	61	865	12%	57	46	1,012	26%	66	65
北部	1,858	16%	93	43	1,231	17%	61	50	627	16%	31	43
西部	1,053	9%	89	41	718	10%	60	49	335	8%	28	41
南部	2,308	20%	88	41	1,785	24%	68	55	523	13%	20	36
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 41-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国	75歳以上	偏差値	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国	75歳以上	偏差値	介護療養病床数	全国	75歳以上	偏差値
		シェア	1,000人当り	*全国は標準偏差		シェア	1,000人当り	*全国は標準偏差		シェア	1,000人当り	*全国は標準偏差
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
佐賀県	2,866	0.8%	24	52	3,612	0.6%	30	45	975	1.5%	8.1	60
中部	1,246	43%	27	57	1,320	37%	28	43	288	30%	6.1	55
東部	240	8%	16	38	495	14%	32	47	130	13%	8.5	61
北部	440	15%	22	49	698	19%	35	50	93	10%	4.6	52
西部	240	8%	20	46	360	10%	30	45	118	12%	9.9	64
南部	700	24%	27	57	739	20%	28	43	346	35%	13.2	72
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 41-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国	75歳以上	偏差値	軽費ホーム	全国	75歳以上	偏差値	グループホーム	全国	75歳以上	偏差値
		シェア	1,000人当り	*全国は標準偏差		シェア	1,000人当り	*全国は標準偏差		シェア	1,000人当り	*全国は標準偏差
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
佐賀県	966	0.4%	8.0	44	100	0.4%	0.8	47	2,309	1.2%	19.2	62
中部	279	29%	6.0	42	50	50%	1.1	48	773	33%	16.5	58
東部	260	27%	17.0	53	50	50%	3.3	59	504	22%	33.0	86
北部	170	18%	8.5	45	0	0%	0	43	457	20%	22.8	69
西部	135	14%	11.4	47	0	0%	0	43	189	8%	15.9	57
南部	122	13%	4.7	41	0	0%	0	43	386	17%	14.7	55
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 41-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(特定施設)			サ高住(非特定施設)							
		全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差					
全国	232,953		14.4	(7.2)	15,364		1.0	(1.7)	217,589		13.5	(6.7)
佐賀県	591	0.3%	4.9	37	30	0.2%	0.2	46	561	0.3%	4.7	37
中部	367	62%	7.8	41	0	0%	0	44	367	65%	7.8	42
東部	198	34%	13.0	48	30	100%	2.0	56	168	30%	11.0	46
北部	0	0%	0	30	0	0%	0	44	0	0%	0	30
西部	11	2%	0.9	31	0	0%	0	44	11	2%	0.9	31
南部	15	3%	0.6	31	0	0%	0	44	15	3%	0.6	31
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 41-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数	介護施設			訪問看護							
		全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差					
全国	165,392		10.3	(2.3)	119,201		7.4	(2.1)	46,191		2.9	(1.0)
佐賀県	1,512	0.9%	12.6	60	1,176	1.0%	9.8	62	336	0.7%	2.8	49
中部	491	32%	10.5	51	371	32%	7.9	53	120	36%	2.6	47
東部	199	13%	13.0	62	144	12%	9.4	60	55	16%	3.6	57
北部	220	15%	11.0	53	175	15%	8.7	56	46	14%	2.3	44
西部	172	11%	14.5	68	138	12%	11.6	71	34	10%	2.9	50
南部	430	28%	16.4	76	348	30%	13.3	79	81	24%	3.1	53
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 41-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員数	介護施設等			在宅介護							
		全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差					
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
佐賀県	11,858	0.8%	99	57	10,851	0.9%	90	62	1,008	0.4%	8.4	40
中部	4,600	39%	98	56	4,123	38%	88	60	477	47%	10.2	43
東部	1,469	12%	96	55	1,332	12%	87	59	137	14%	9.0	41
北部	2,164	18%	108	64	2,048	19%	102	72	116	12%	5.8	36
西部	1,177	10%	99	57	1,087	10%	92	63	90	9%	7.5	39
南部	2,449	21%	93	52	2,260	21%	86	58	188	19%	7.2	38
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 41-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
佐賀県	9,068	0.8%	75	53	1,308	0.3%	11	36	10,220	0.7%	85	48
中部	3,954	44%	84	56	557	43%	12	37	5,927	58%	126	61
東部	2,198	24%	144	75	237	18%	16	40	944	9%	62	41
北部	1,348	15%	67	50	139	11%	7	32	1,336	13%	67	42
西部	436	5%	37	41	148	11%	12	37	671	7%	57	39
南部	1,132	12%	43	43	227	17%	9	34	1,342	13%	51	37
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 41-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
佐賀県		866,369	832,832	-4%	774,676	-11%	5%	2%	7%
中部	地方都市型	359,589	348,633	-3%	324,222	-10%	6%	3%	9%
東部	地方都市型	119,859	124,964	4%	121,484	1%	15%	7%	24%
北部	地方都市型	137,854	128,687	-7%	117,309	-15%	3%	0%	2%
西部	地方都市型	79,760	75,386	-5%	70,170	-12%	4%	1%	5%
南部	地方都市型	169,307	155,162	-8%	141,491	-16%	0%	-1%	-1%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 41-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
佐賀県	112	12.9	65	108	13.0	65	-4	-4%	104
中部	39	10.8	60	39	11.2	61	0	0%	39
東部	14	11.7	62	14	11.2	61	0	0%	14
北部	19	13.8	67	18	14.0	68	-1	-5%	17
西部	14	17.6	77	12	15.9	72	-2	-14%	10
南部	26	15.4	71	25	16.1	73	-1	-4%	24
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 41-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
佐賀県	678	78	51	684	82	52	6	1%	690
中部	308	86	55	308	88	55	0	0%	308
東部	99	83	53	103	82	52	4	4%	107
北部	111	81	52	100	78	49	-11	-10%	88
西部	50	63	43	61	81	51	11	22%	73
南部	110	65	45	112	72	46	2	2%	114
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 41-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
佐賀県	1,985	229	52	2,319	278	54	334	17%	2,687
中部	1,079	300	61	1,325	380	64	246	23%	1,596
東部	189	158	44	224	179	43	35	19%	263
北部	245	178	46	276	214	47	31	13%	310
西部	129	162	44	121	161	41	-8	-6%	112
南部	343	203	49	373	240	50	30	9%	406
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 41-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
佐賀県	19,063	220	64	17,711	213	64	-1,352	-7%	16,223
中部	7,632	212	63	6,964	200	62	-668	-9%	6,229
東部	2,760	230	66	2,669	214	64	-91	-3%	2,569
北部	2,786	202	61	2,488	193	61	-298	-11%	2,160
西部	1,730	217	63	1,633	217	65	-97	-6%	1,526
南部	4,155	245	69	3,957	255	72	-198	-5%	3,739
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 41-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
佐賀県	8,981	104	57	8,637	104	59	-344	-4%	8,258	107
中部	4,203	117	62	4,056	116	64	-147	-3%	3,894	120
東部	1,026	86	51	944	76	49	-82	-8%	854	70
北部	1,230	89	52	1,127	88	53	-103	-8%	1,014	86
西部	672	84	50	706	94	56	34	5%	743	106
南部	1,850	109	59	1,804	116	64	-46	-2%	1,753	124
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 41-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
佐賀県	5,475	56	63	4,753	40	66	-722	-13%	3,960	28
中部	1,843	49	60	1,418	30	58	-425	-23%	951	17
東部	902	81	78	919	60	83	17	2%	938	45
北部	846	51	61	746	37	64	-100	-12%	636	28
西部	676	69	71	583	49	74	-93	-14%	481	36
南部	1,208	53	62	1,087	41	67	-121	-10%	954	33
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

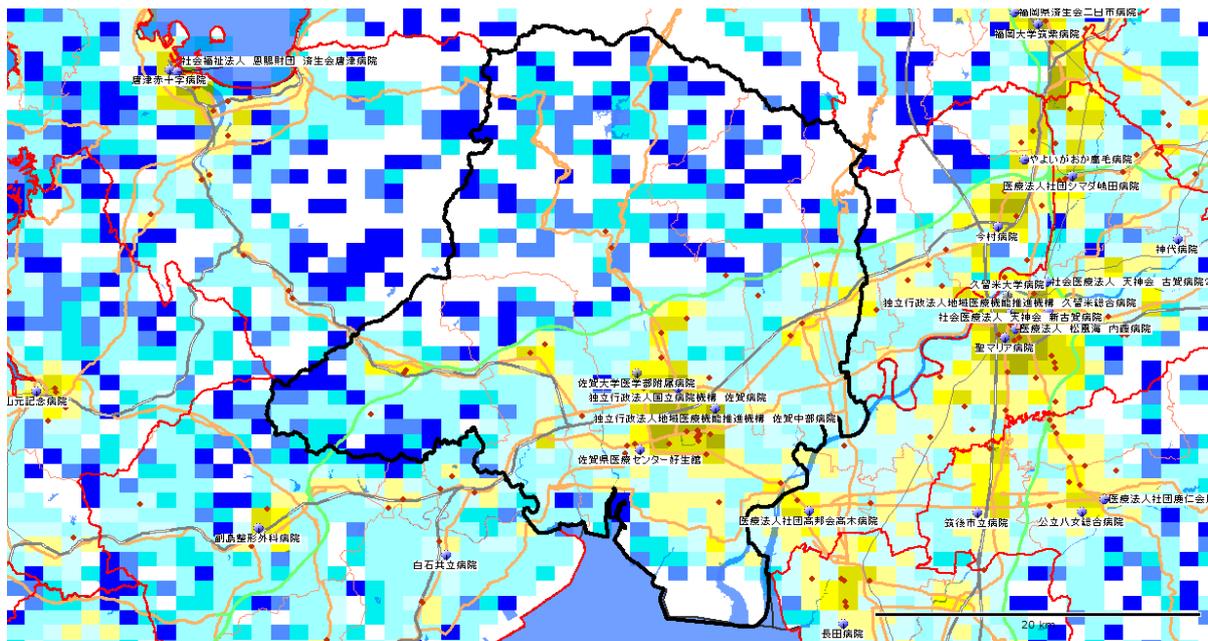
資_図表 41-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費			入院外+ 調剤		
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	934	(123)	1.000	460	(99)	1.000	441	(41)	1.000
佐賀県	1,076	62	1.144	577	62	1.227	469	57	1.070
中部	1,080	62	1.146	554	60	1.181	492	62	1.117
東部	1,172	69	1.257	633	68	1.376	503	65	1.146
北部	981	54	1.059	509	55	1.099	446	51	1.034
西部	1,016	57	1.080	594	64	1.262	396	39	0.906
南部	1,117	65	1.179	630	67	1.321	457	54	1.042
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

41-1. ちゅうぶ 中部医療圏

構成市区町村⁹ [佐賀市](#) [多久市](#) [小城市](#) [神埼市](#)
[吉野ヶ里町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 中部(佐賀市)は、総人口約349千人(2015年)、面積794km²、人口密度は439人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 中部の総人口は2025年に324千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に285千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の47千人が、2025年にかけて57千人へと増加し(2015年比+21%)、2040年には62千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 中部の一人当たり医療費(国保)は419千円(偏差値67)、介護給付費は274千円(偏差値56)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 中部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.18、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.93で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が63(病院医師数67、診療所医師数52)と、総医師数は多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は70と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は59と多い。中部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の佐賀県医療センター好生館(Ⅱ群・救命)、佐賀大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、500例以上の国立病院機構佐賀病院(Ⅲ群)、JCHO佐賀中部病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4323人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2854床(偏差値49)、高齢者住宅等が1469床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4123人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム42、軽費ホーム48、グループホーム58、サ高住41である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、477人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-18%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(中部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

中部医療圏の総人口は、2005年359589人が、2015年に348633人と3%減少し、2025年の人口が324222人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

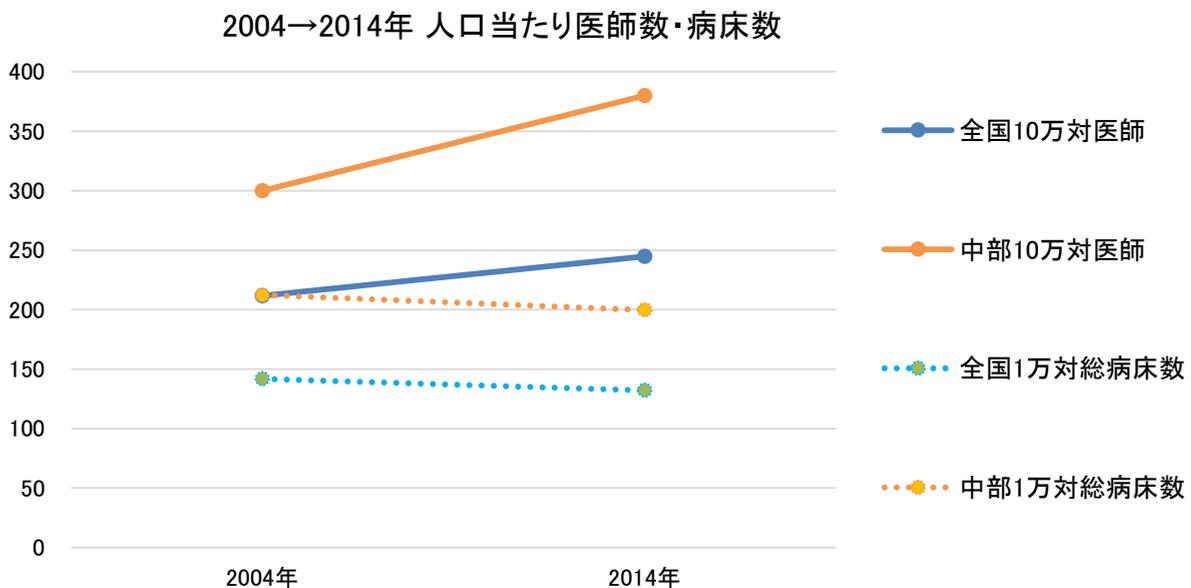
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が39(人口10万人当たり10.8病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に39(人口10万人当たり11.2病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が308(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に308(人口10万人当たり88診療所(全国平均79)偏差値55)と、増減がなかった。

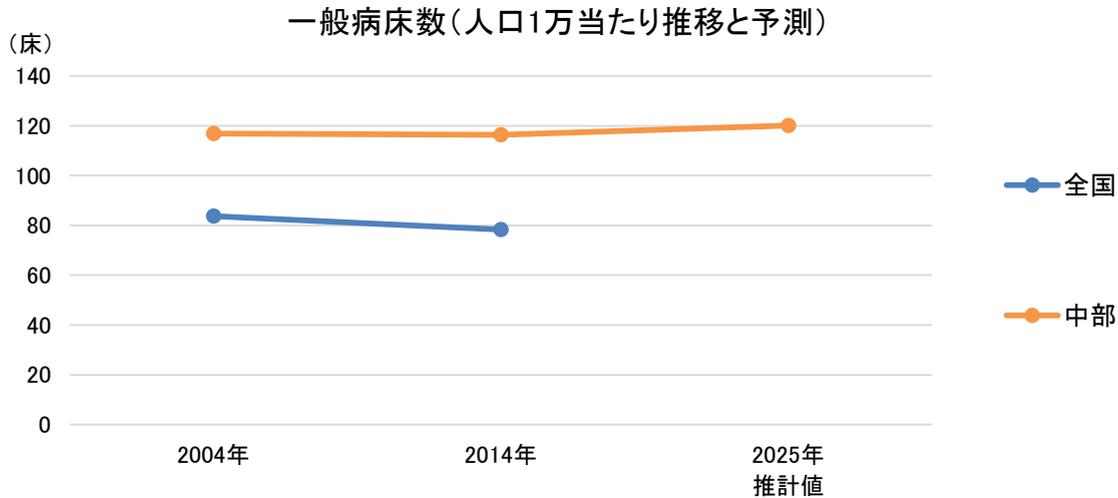
2004年の総病床数が7632床(人口1万人当たり212(全国平均142)偏差値63)であったが、2014年に6964床(人口1万人当たり200(全国平均132)偏差値62)と、668床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1079人(人口10万人当たり300人(全国平均212人)偏差値61)であったが、2014年に1325人(人口10万人当たり380人(全国平均245人)偏差値64)と、246人の増加、率にして23%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



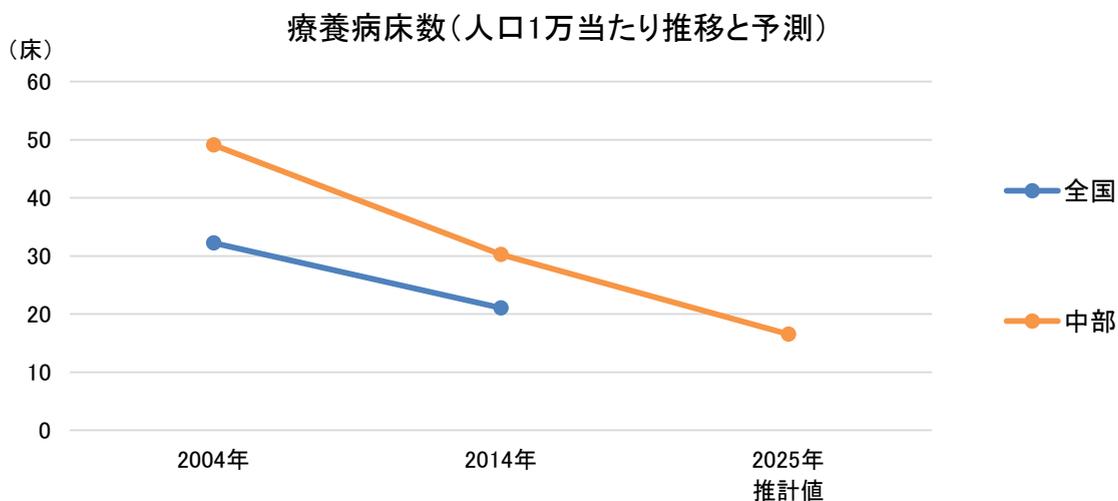
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4203床(人口1万人当たり117(全国平均84)偏差値62)であったが、2014年に4056床(人口1万人当たり116(全国平均78)偏差値64)と、147床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3894床(2025年の推計人口1万人当たり120)になることが予想される。



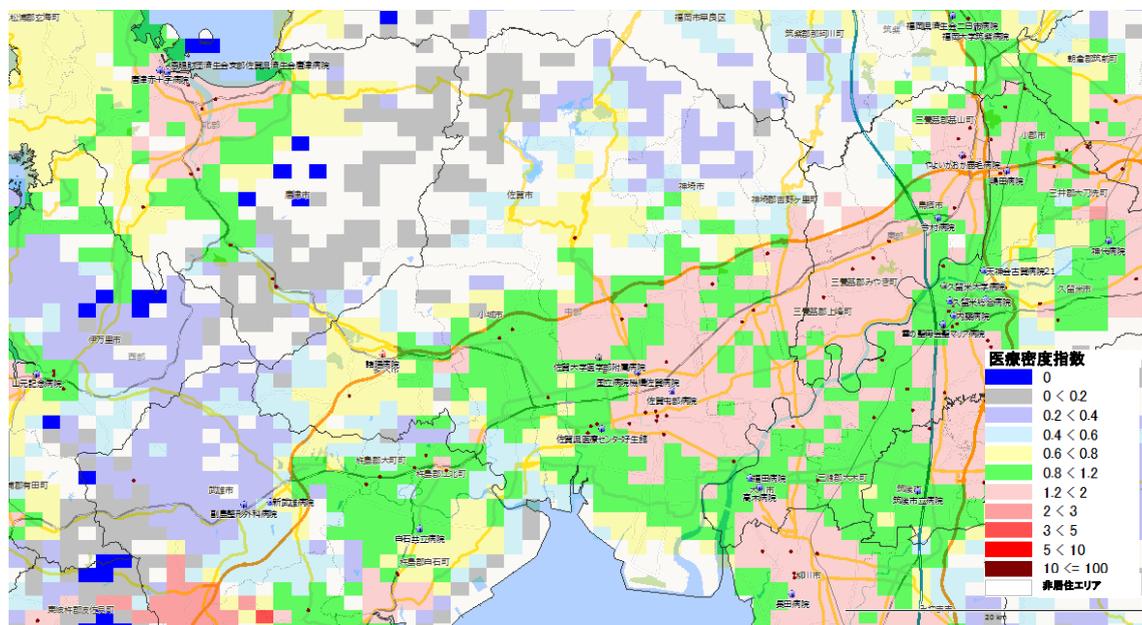
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1843床(75歳以上1000人当たり49(全国平均32)偏差値60)であったが、2014年に1418床(75歳以上1000人当たり30(全国平均21)偏差値58)と、425床の減少、率にして23%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には951床(2025年の推計75歳以上1000人当たり17)になることが予想される。



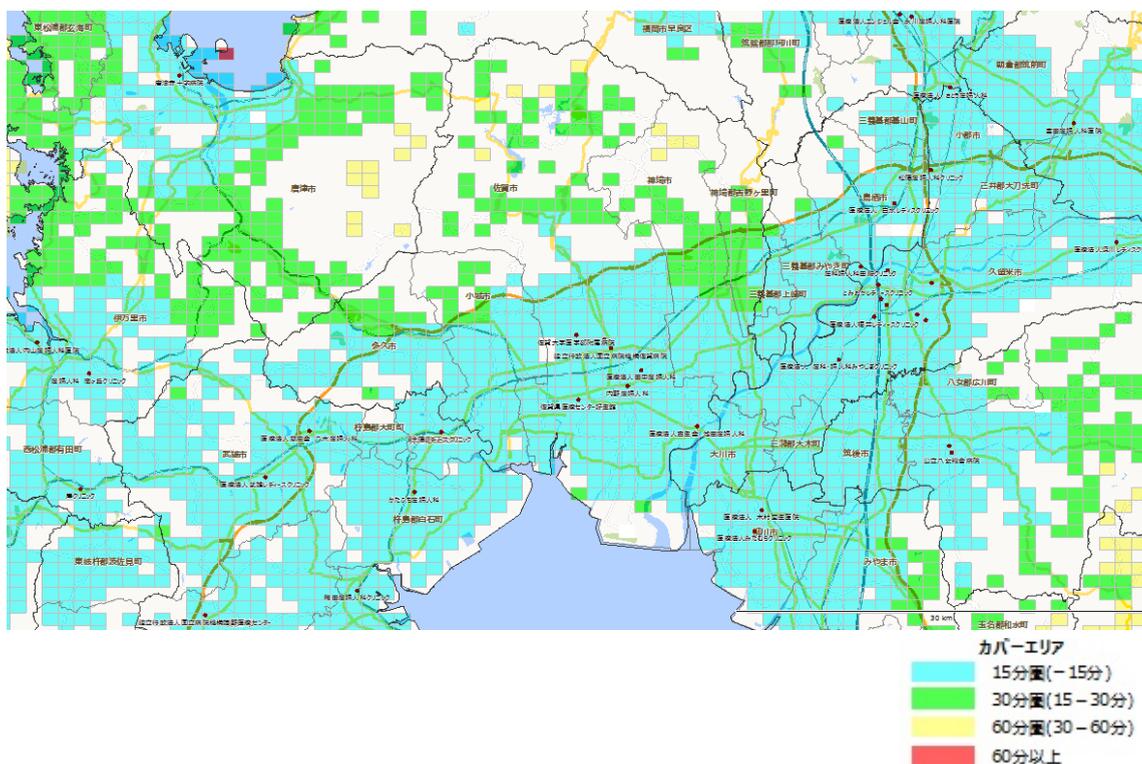
(中部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表41-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表41-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



(東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 東部(鳥栖市)は、総人口約125千人(2015年)、面積159km²、人口密度は788人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 東部の総人口は2025年に121千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に115千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて21千人へと増加し(2015年比+40%)、2040年には22千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は442千円(偏差値72)、介護給付費は242千円(偏差値47)であり、医療費は非常に高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 東部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.35、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.69で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が45(病院医師数42、診療所医師数51)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は61と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。東部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は71と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値84と非常に多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は66で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1877人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が865床(偏差値46)、高齢者住宅等が1012床(偏差値65)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1332人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設38、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設61、有料老人ホーム53、軽費ホーム59、グループホーム86、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値74と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値69と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値63と多い。介護職員(在宅)の合計は、137人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+2%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(東部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

東部医療圏の総人口は、2005年119859人が、2015年に124964人と4%増加し、2025年の人口が121484人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

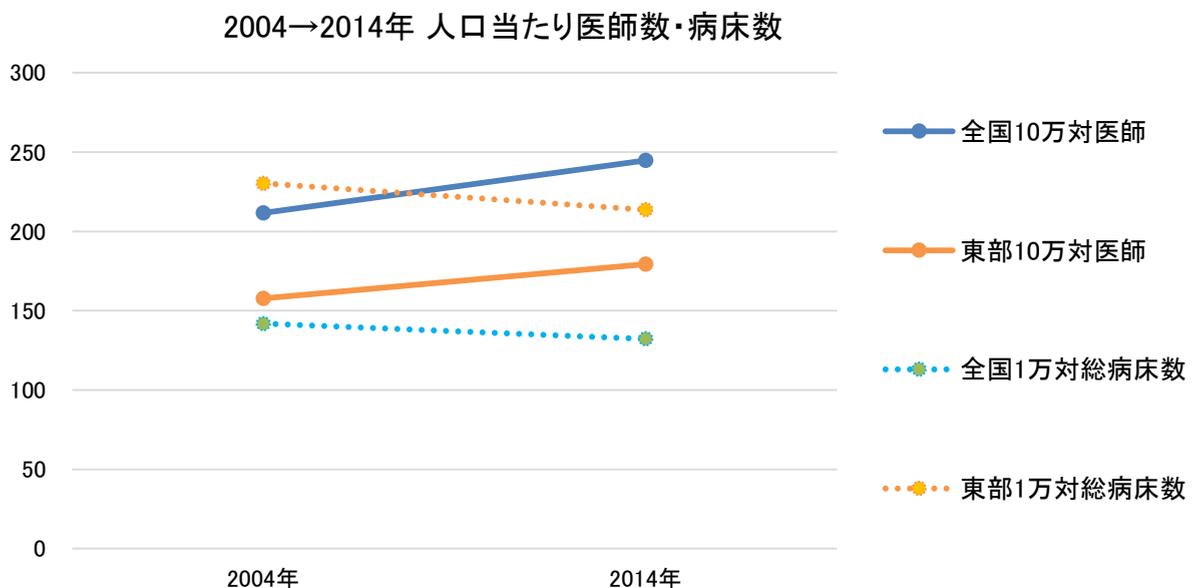
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が14(人口10万人当たり11.7病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2014年に14(人口10万人当たり11.2病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が99(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に103(人口10万人当たり82診療所(全国平均79)偏差値52)と、4診療所が増加した。

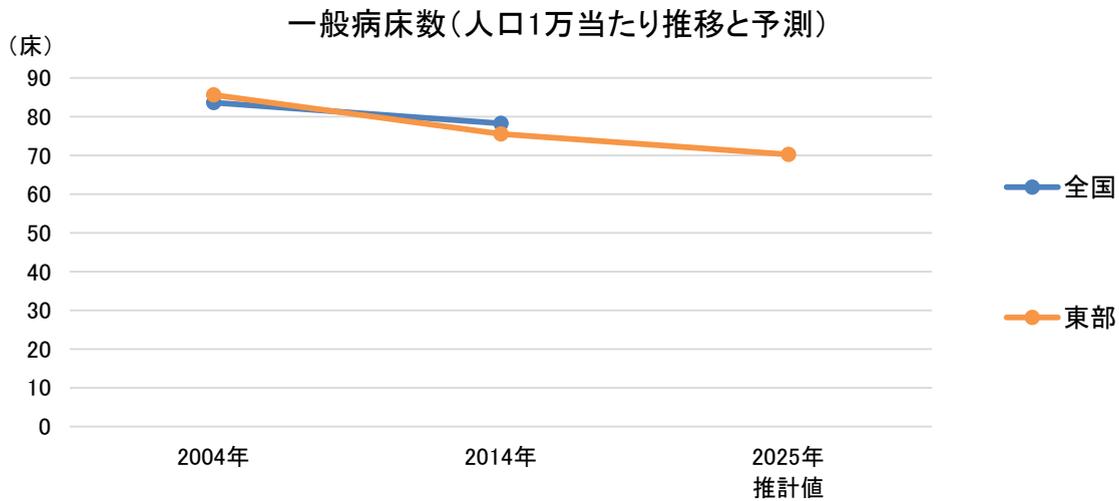
2004年の総病床数が2760床(人口1万人当たり230(全国平均142)偏差値66)であったが、2014年に2669床(人口1万人当たり214(全国平均132)偏差値64)と、91床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が189人(人口10万人当たり158人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に224人(人口10万人当たり179人(全国平均245人)偏差値43)と、35人の増加、率にして19%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



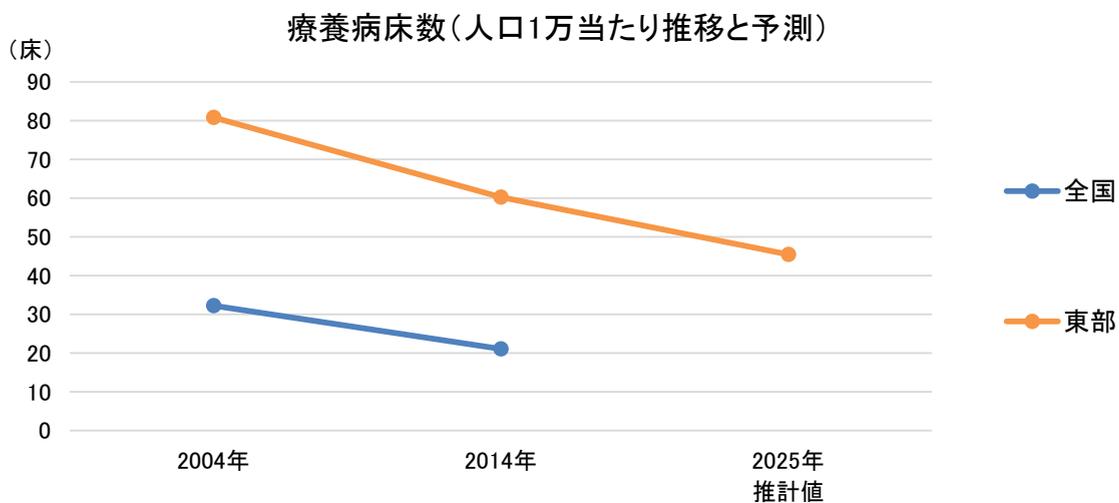
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1026床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に944床(人口1万人当たり76(全国平均78)偏差値49)と、82床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には854床(2025年の推計人口1万人当たり70)になることが予想される。



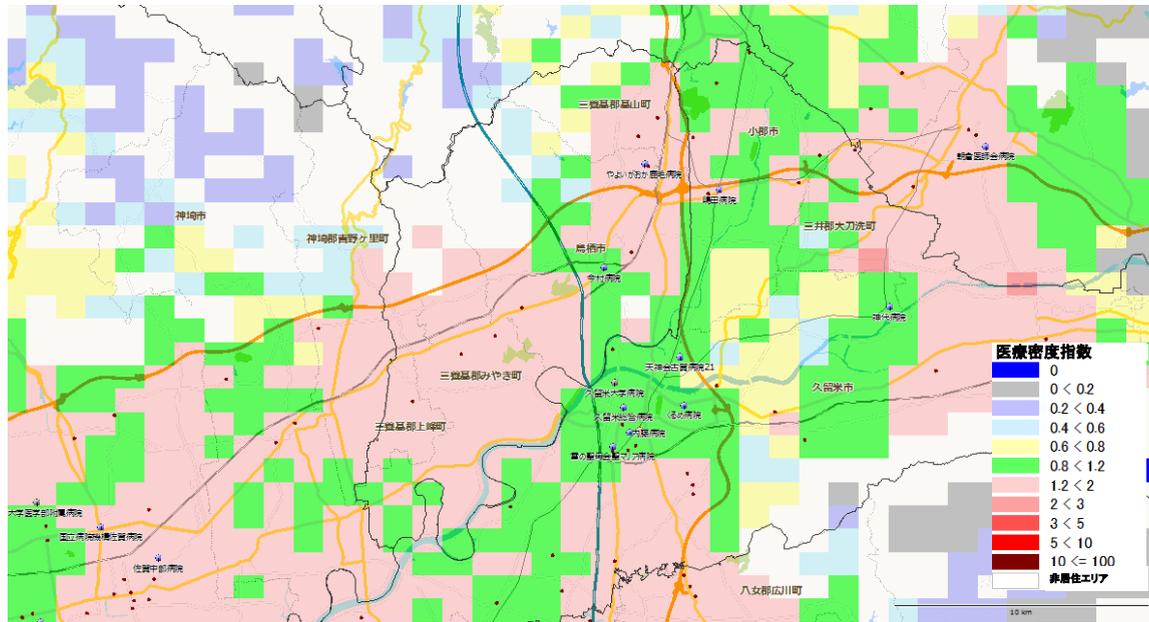
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が902床(75歳以上1000人当たり81(全国平均32)偏差値78)であったが、2014年に919床(75歳以上1000人当たり60(全国平均21)偏差値83)と、17床の増加、率にして2%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には938床(2025年の推計75歳以上1000人当たり45)になることが予想される。



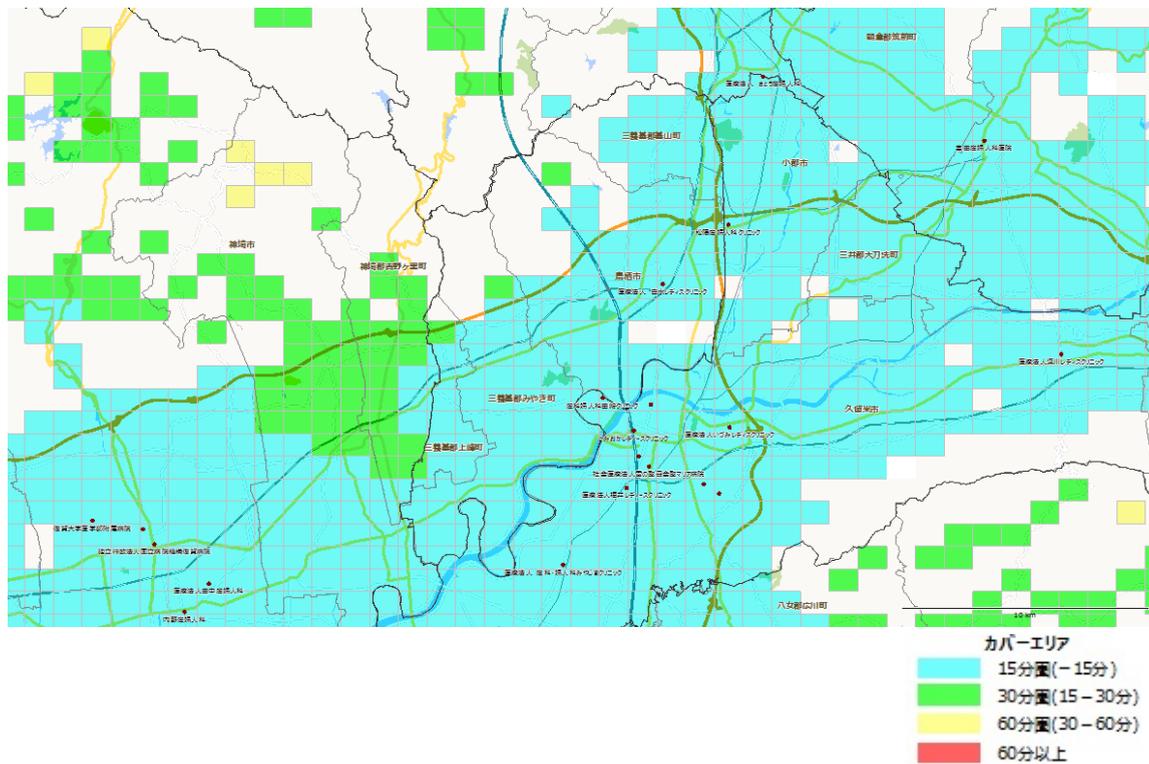
(東部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表41-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表41-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

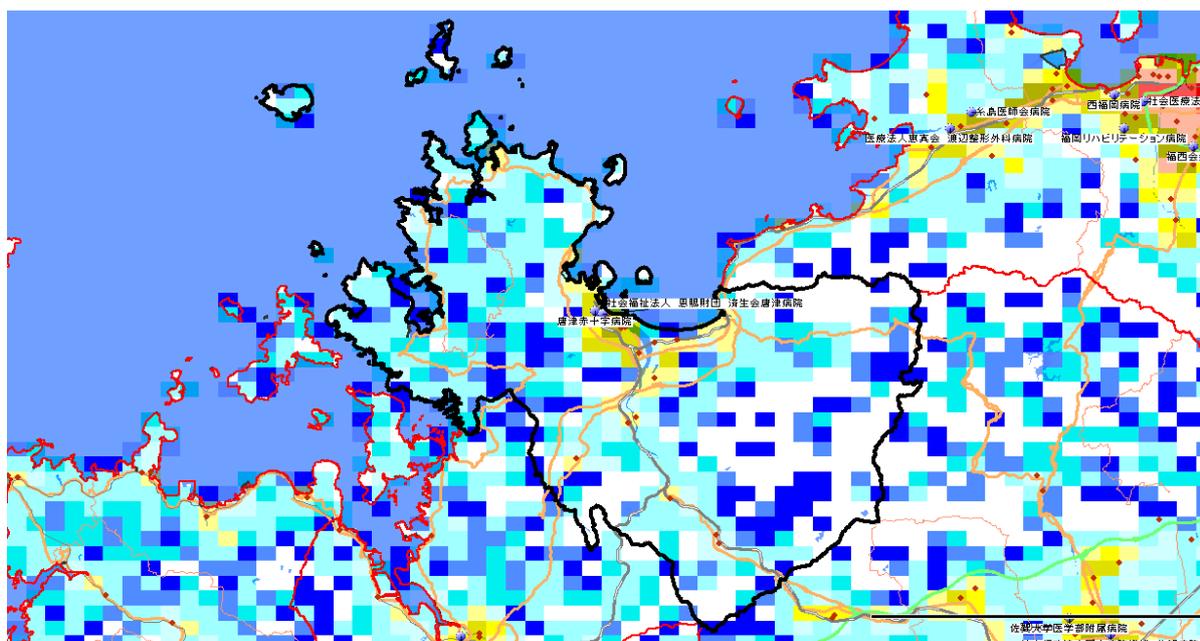
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



41-3. ほくぶ北部医療圏

構成市区町村⁹ [唐津市](#) [玄海町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北部(唐津市)は、総人口約129千人(2015年)、面積524km²、人口密度は246人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北部の総人口は2025年に117千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に100千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の20千人が、2025年にかけて22千人へと増加し(2015年比+10%)、2040年には23千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北部の一人当たり医療費(国保)は381千円(偏差値58)、介護給付費は283千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.97、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.82で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が48(病院医師数48、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は62と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。北部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の唐津赤十字病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の済生会唐津病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は60で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1858人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1231床(偏差値50)、高齢者住宅等が627床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2048人(75歳以上1000人当たりの偏差値72)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム45、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム69、サ高住なし(偏差値30)である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値58と多く、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、116人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+2%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(北部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北部医療圏の総人口は、2005年137854人が、2015年に128687人と7%減少し、2025年の人口が117309人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

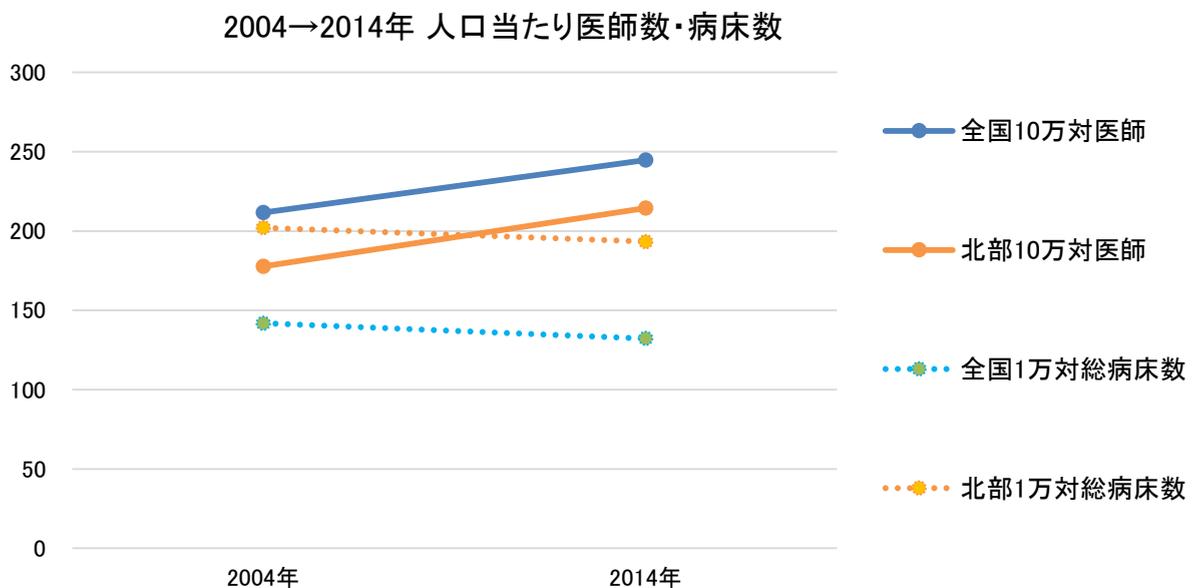
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が19(人口10万人当たり13.8病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2014年に18(人口10万人当たり14病院(全国平均6.7)偏差値68)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が111(人口10万人当たり81診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2014年に100(人口10万人当たり78診療所(全国平均79)偏差値49)と、11診療所が減少した。

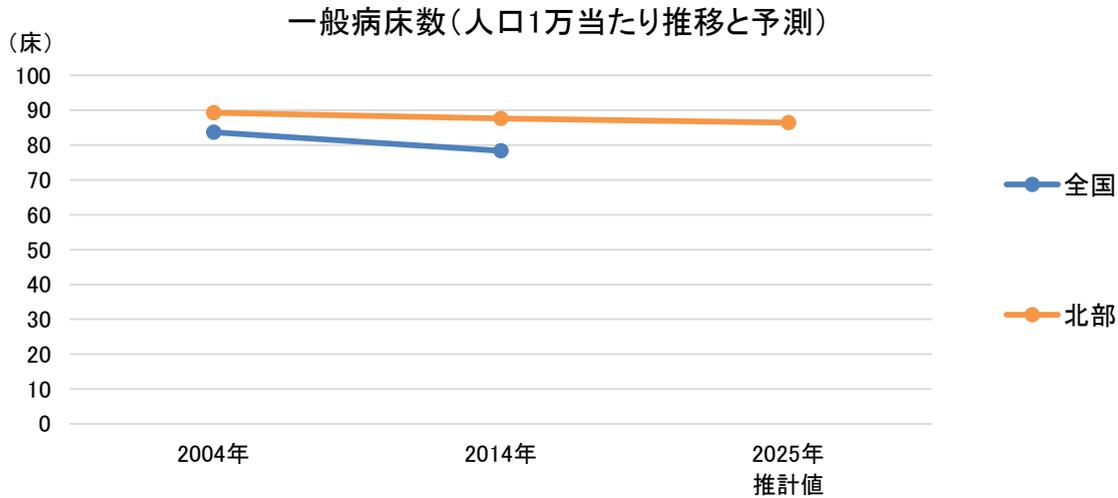
2004年の総病床数が2786床(人口1万人当たり202(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に2488床(人口1万人当たり193(全国平均132)偏差値61)と、298床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が245人(人口10万人当たり178人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に276人(人口10万人当たり214人(全国平均245人)偏差値47)と、31人の増加、率にして13%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



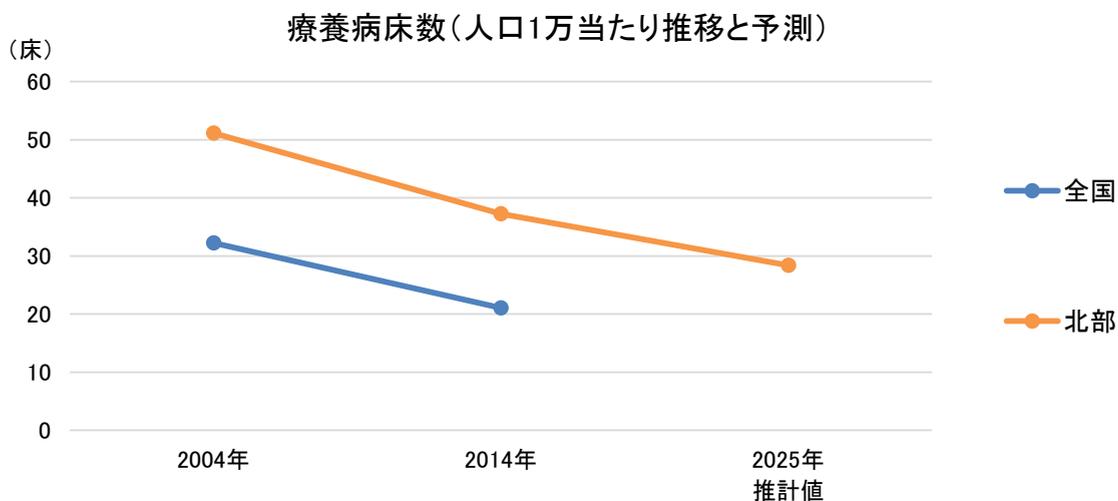
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1230床(人口1万人当たり89(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に1127床(人口1万人当たり88(全国平均78)偏差値53)と、103床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1014床(2025年の推計人口1万人当たり86)になることが予想される。



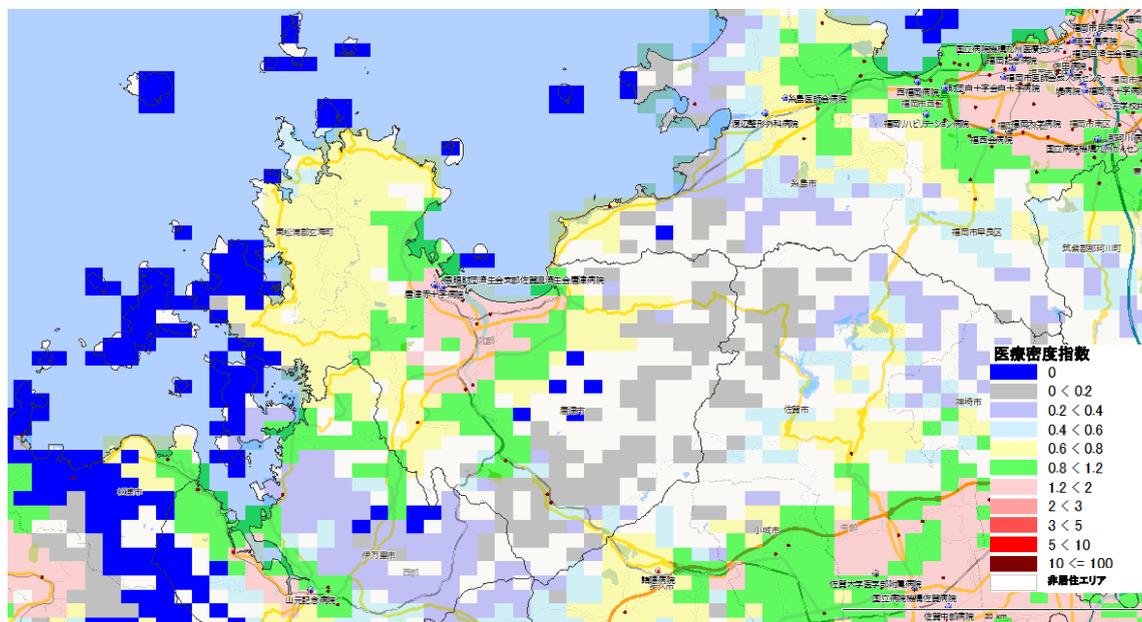
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が846床(75歳以上1000人当たり51(全国平均32)偏差値61)であったが、2014年に746床(75歳以上1000人当たり37(全国平均21)偏差値64)と、100床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には636床(2025年の推計75歳以上1000人当たり28)になることが予想される。



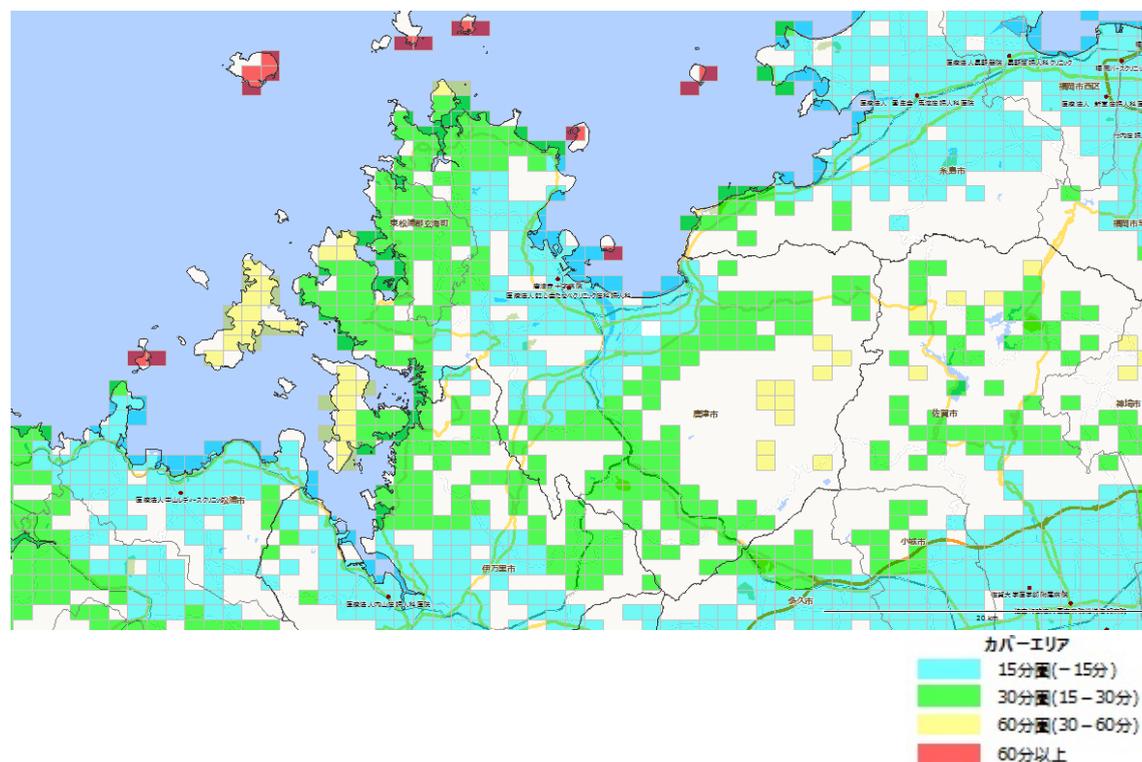
(北部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表41-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表41-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

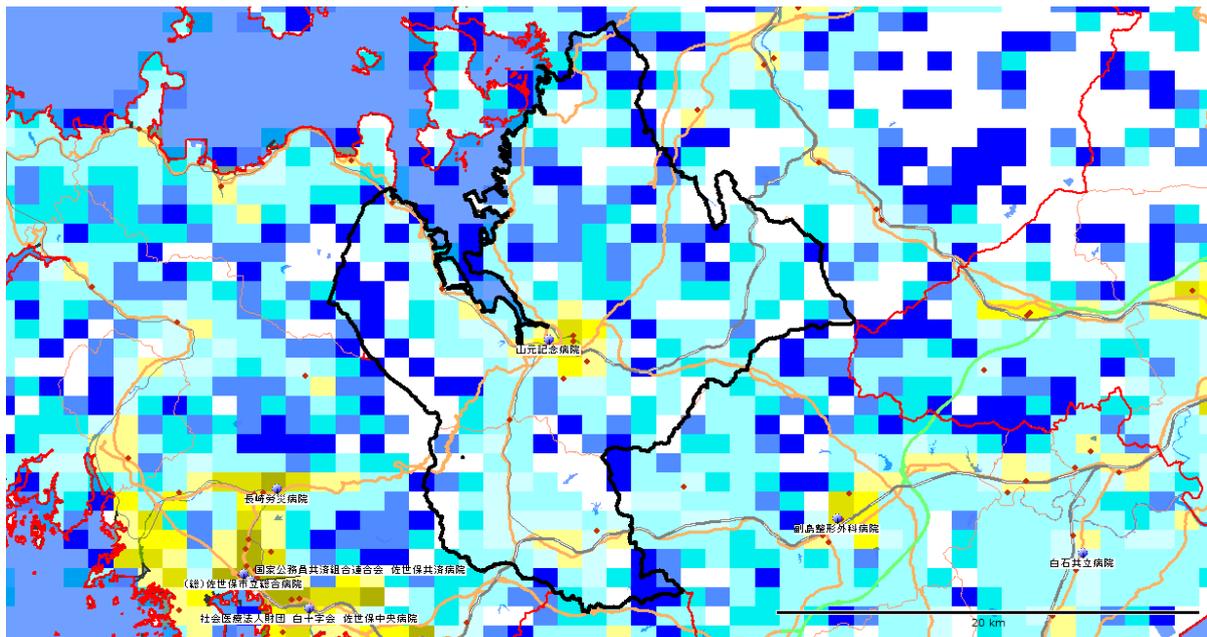
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



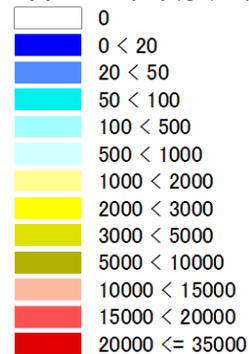
41-4. せいぶ西部医療圏

構成市区町村⁹ [伊万里市](#) [有田町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：西部(伊万里市)は、総人口約75千人(2015年)、面積321km²、人口密度は235人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測：西部の総人口は2025年に70千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に61千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の12千人が、2025年にかけて13千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には14千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は408千円(偏差値65)、介護給付費は301千円(偏差値64)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度：西部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.85、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.5で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状：総医師数³の偏差値が43(病院医師数44、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。西部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は71と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状：総療法士数は偏差値72と非常に多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1053人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が718床(偏差値49)、高齢者住宅等が335床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1087人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設64、有料老人ホーム47、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム57、サ高住31である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値60と多い。介護職員(在宅)の合計は、90人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数⁴は-5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(西部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

西部医療圏の総人口は、2005年79760人が、2015年に75386人と5%減少し、2025年の人口が70170人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

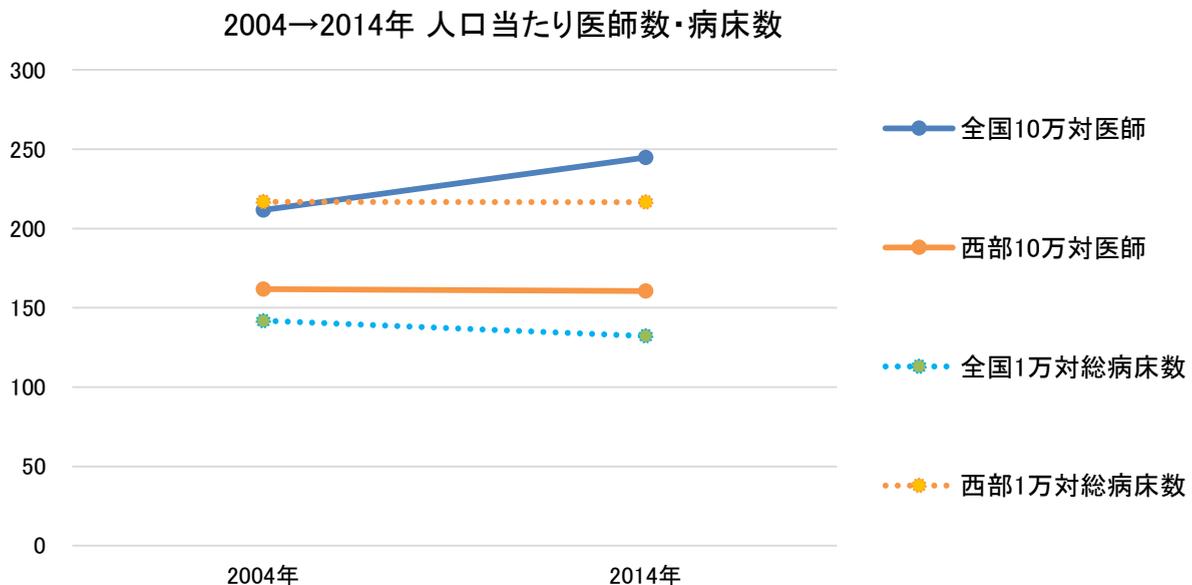
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が14(人口10万人当たり17.6病院(全国平均7.1)偏差値77)であったが、2014年に12(人口10万人当たり15.9病院(全国平均6.7)偏差値72)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が50(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2014年に61(人口10万人当たり81診療所(全国平均79)偏差値51)と、11診療所が増加した。

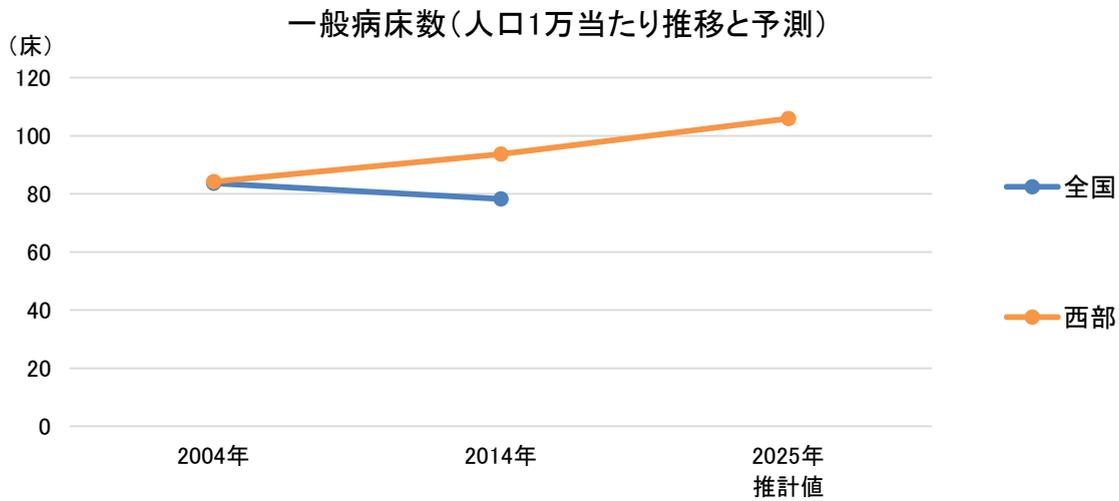
2004年の総病床数が1730床(人口1万人当たり217(全国平均142)偏差値63)であったが、2014年に1633床(人口1万人当たり217(全国平均132)偏差値65)と、97床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が129人(人口10万人当たり162人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に121人(人口10万人当たり161人(全国平均245人)偏差値41)と、8人の減少、率にして6%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



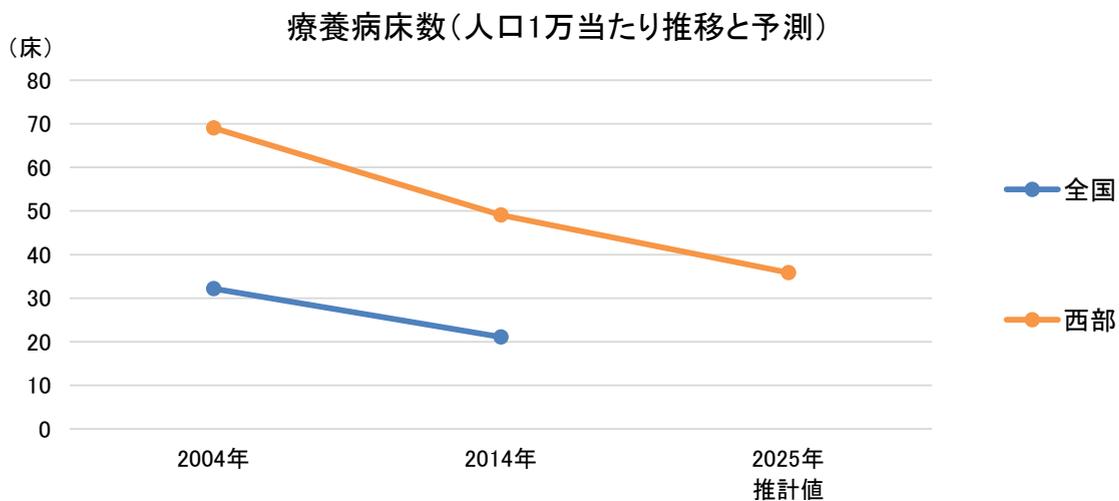
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が672床(人口1万人当たり84(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に706床(人口1万人当たり94(全国平均78)偏差値56)と、34床の増加、率にして5%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には743床(2025年の推計人口1万人当たり106)になることが予想される。



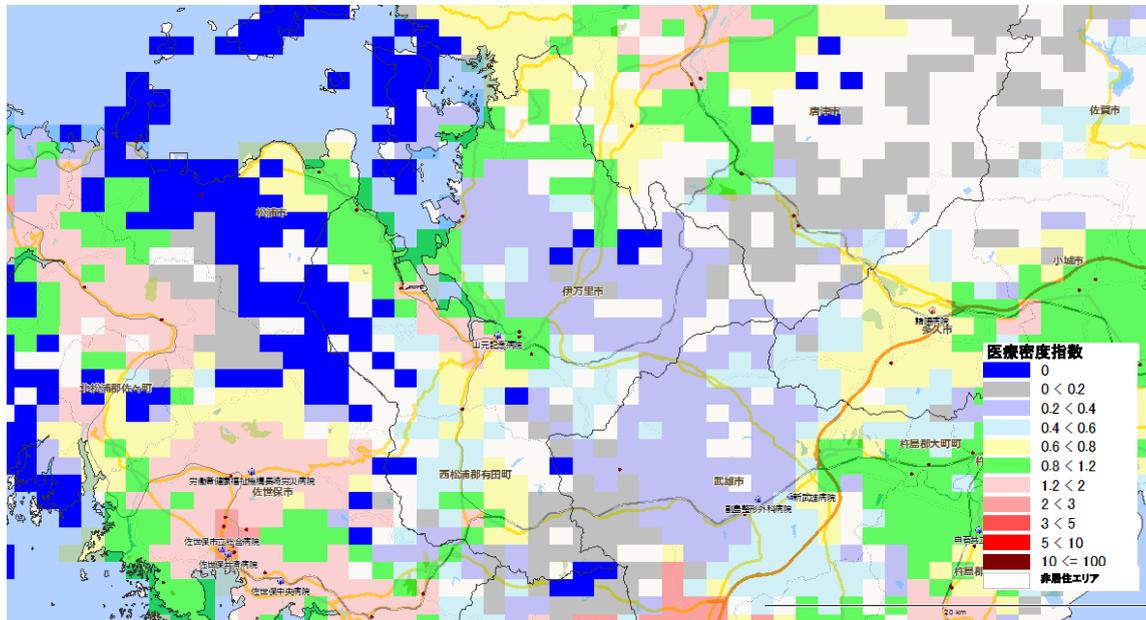
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が676床(75歳以上1000人当たり69(全国平均32)偏差値71)であったが、2014年に583床(75歳以上1000人当たり49(全国平均21)偏差値74)と、93床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には481床(2025年の推計75歳以上1000人当たり36)になることが予想される。



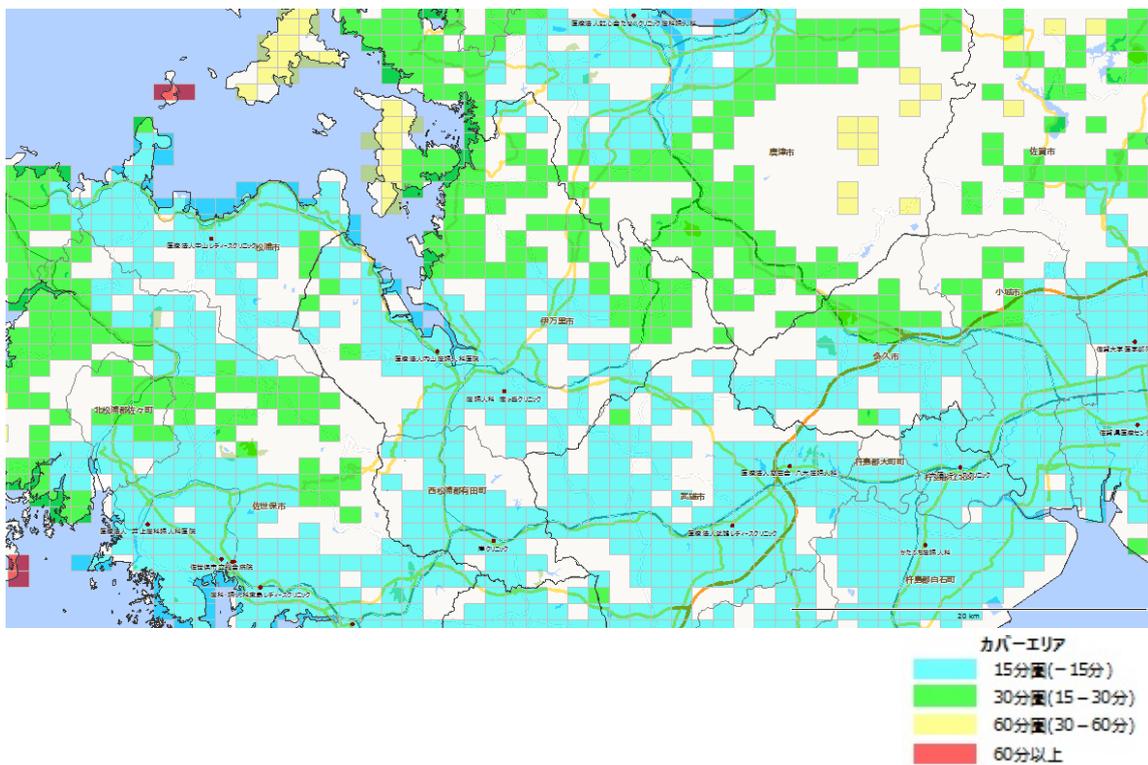
(西部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表41-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表41-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

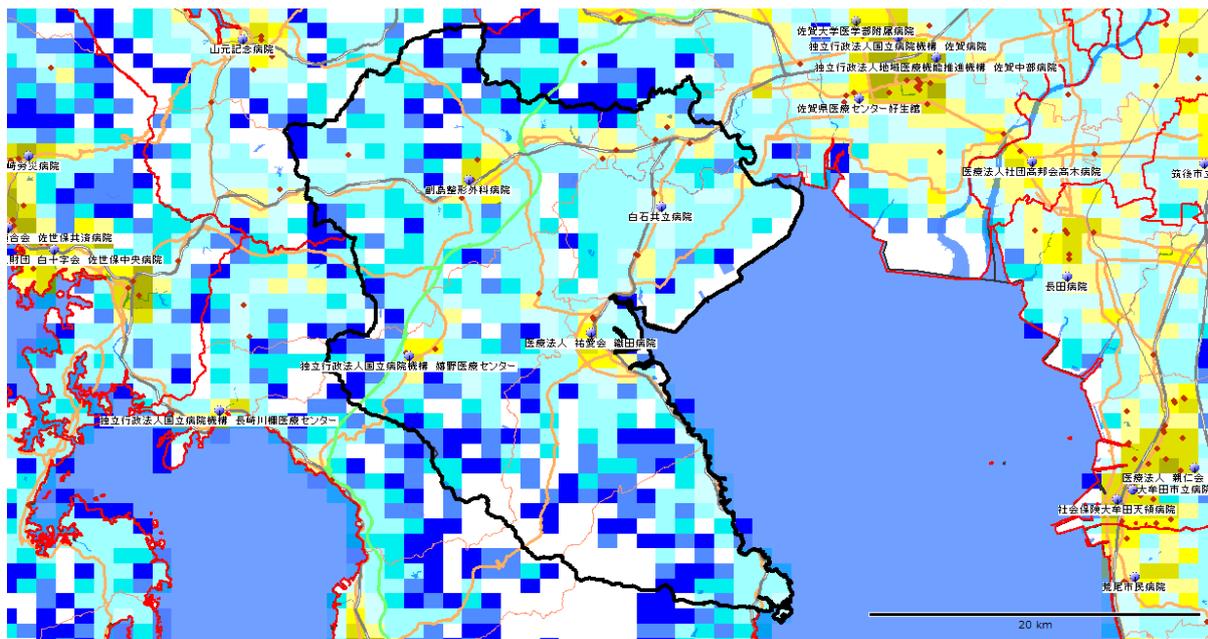
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



41-5. なんぶ南部医療圏

構成市区町村⁹ [武雄市](#) [鹿島市](#) [嬉野市](#) [大町町](#)
[江北町](#) [白石町](#) [太良町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 南部(武雄市)は、総人口約155千人(2015年)、面積644km²、人口密度は241人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 南部の総人口は2025年に141千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に120千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の26千人が、2025年にかけて29千人へと増加し(2015年比+12%)、2040年には30千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 南部の一人当たり医療費(国保)は420千円(偏差値67)、介護給付費は303千円(偏差値64)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 南部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.95、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.87で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が51(病院医師数53、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は72と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は79と非常に多い。南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立病院機構嬉野医療センター(Ⅲ群・救命)、500例以上の新武雄病院(Ⅲ群)、副島整形外科病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は69と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値68と非常に多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は69で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2308人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1785床(偏差値55)、高齢者住宅等が523床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2260人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設72、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム55、サ高住31である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、188人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-1%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(南部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

南部医療圏の総人口は、2005年169307人が、2015年に155162人と8%減少し、2025年の人口が141491人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

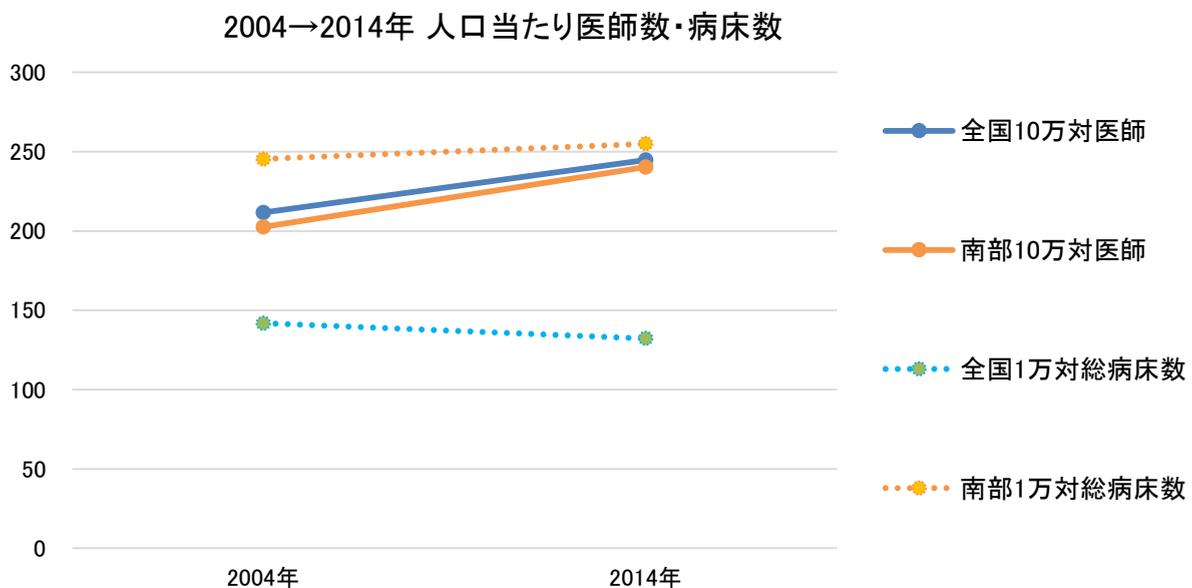
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が26(人口10万人当たり15.4病院(全国平均7.1)偏差値71)であったが、2014年に25(人口10万人当たり16.1病院(全国平均6.7)偏差値73)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が110(人口10万人当たり65診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に112(人口10万人当たり72診療所(全国平均79)偏差値46)と、2診療所が増加した。

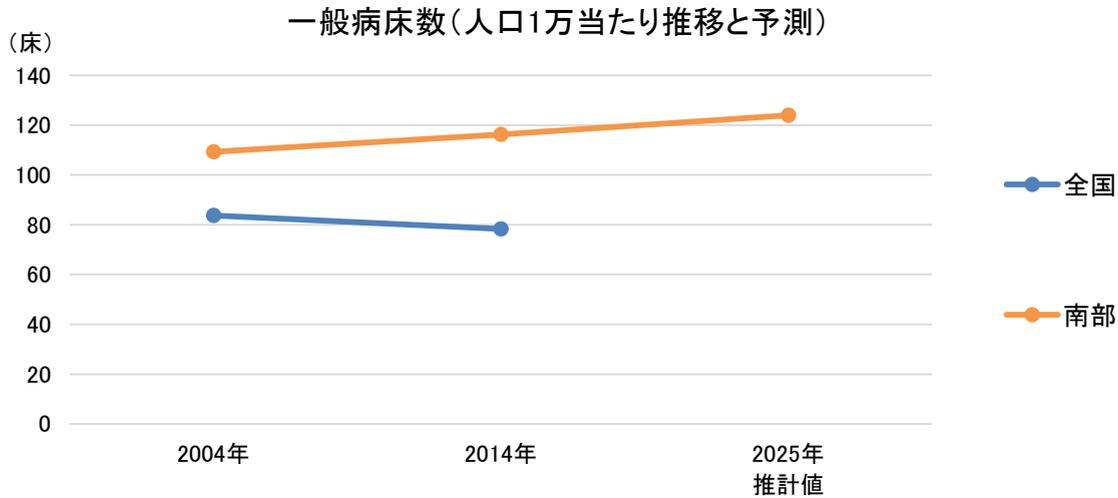
2004年の総病床数が4155床(人口1万人当たり245(全国平均142)偏差値69)であったが、2014年に3957床(人口1万人当たり255(全国平均132)偏差値72)と、198床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が343人(人口10万人当たり203人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に373人(人口10万人当たり240人(全国平均245人)偏差値50)と、30人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



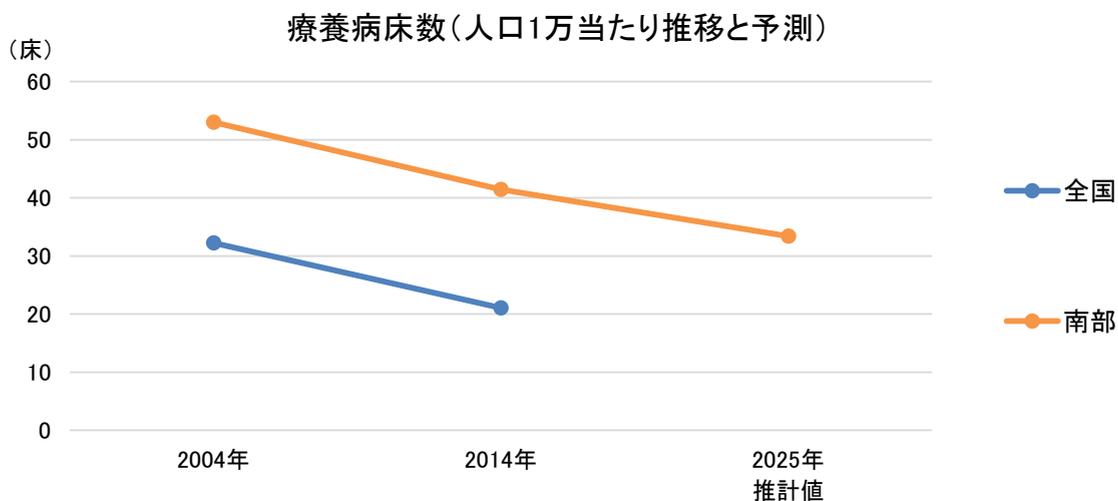
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1850床(人口1万人当たり109(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に1804床(人口1万人当たり116(全国平均78)偏差値64)と、46床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1753床(2025年の推計人口1万人当たり124)になることが予想される。



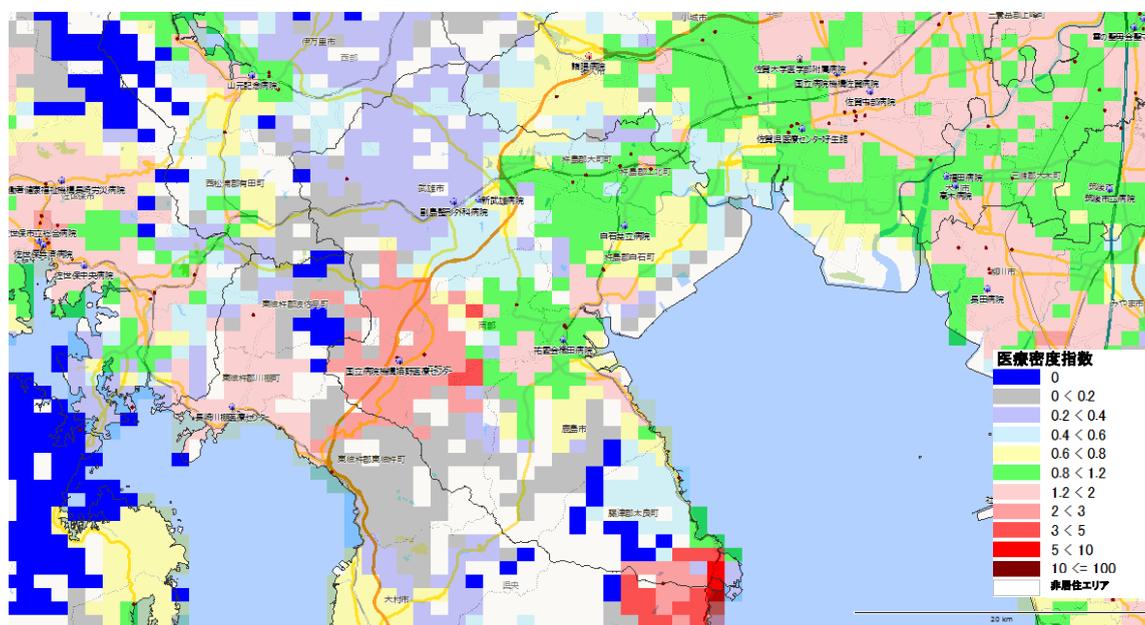
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1208床(75歳以上1000人当たり53(全国平均32)偏差値62)であったが、2014年に1087床(75歳以上1000人当たり41(全国平均21)偏差値67)と、121床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には954床(2025年の推計75歳以上1000人当たり33)になることが予想される。



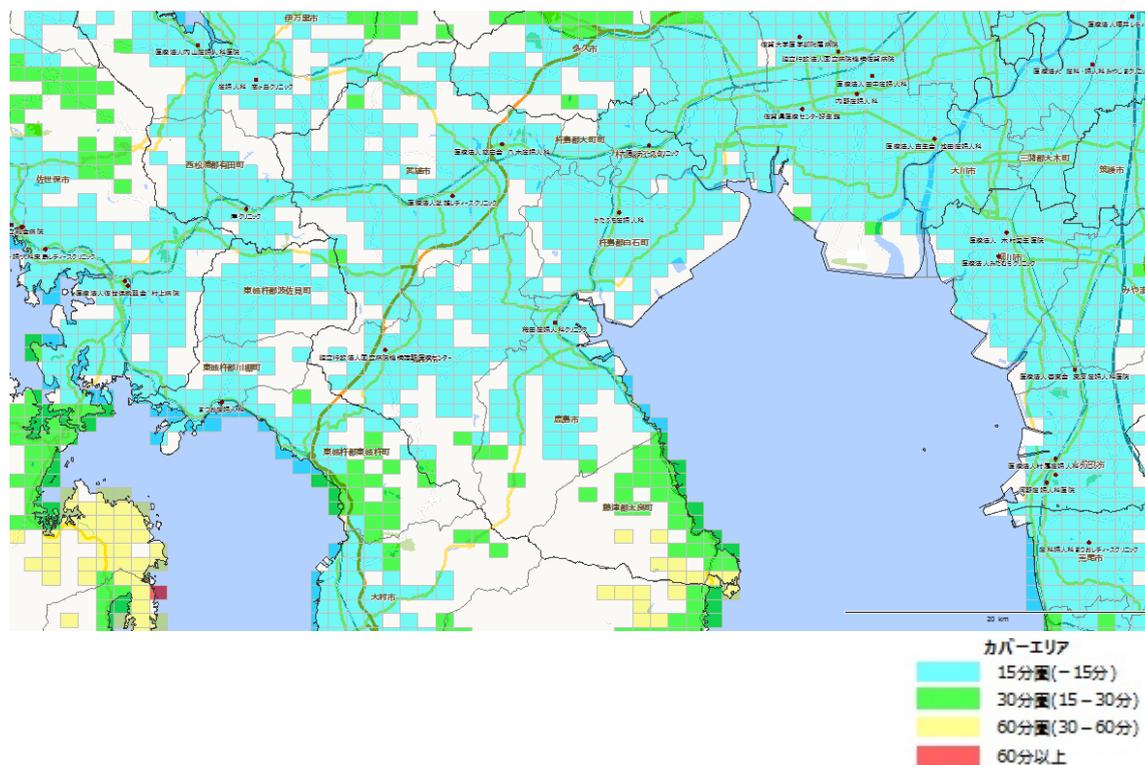
(南部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表41-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表41-5-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。